



院内がん登録-2018年-

公立置賜総合病院

目次

収集・集計の対象と方法	1
1.登録数・部位別登録数 年次推移	4
2.症例区分・来院経路・発見経緯 年次推移	5
3.年齢別登録数 年次推移	6
4.部位別集計	7
・胃	7
・大腸	9
・肝	11
・肺	13
・乳腺	15
・前立腺	17
・子宮頸部	19
・造血器腫瘍	21
5.生存率（2011-2013年5年生存率）	23
2011-2013年生存率集計 調査方法	23
・胃	25
・大腸	26
・肺	27
・乳腺	28

収集・集計の対象と方法

<収集データ>

・2018年1月1日～12月31日までの診断症例

<収集の定義>

年齢	診断時の年齢	
部位区分	表1 部位分類コード対応に基づく	
登録対象	「国際疾病分類-腫瘍学第3.1版」(ICD-O3)における形態コードの性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のものとする ただし、以下の腫瘍においては例外的に登録対象とする a)中枢神経系腫瘍 b)消化管間質腫瘍(GIST) c)境界悪性の卵巣腫瘍の一部	
定義内容	症例区分	<p>10：診断のみ →自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合</p> <p>20：自施設診断・自施設初回治療開始 →自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合(経過観察の決定および実行した場合も含む)</p> <p>21：自施設診断・自施設初回治療継続 →自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合(自施設での経過観察の実行は含まない)</p> <p>30：他施設診断・自施設治療開始 →他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合(経過観察の決定および実行した場合も含む)</p> <p>31：他施設診断・自施設初回治療継続 →他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合(自施設での経過観察の実行は含まない)</p> <p>40：初回治療終了後 →他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療の有無は問わない</p>
	治療前ステージ	治療が行われる前までに診断されたステージ
	術後病理学的ステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・手術が行われた患者に関して、術後病理学的に出されたステージ ・手術が行われなかった場合や術前に化学療法や放射線療法などが行われた場合には手術前の治療の影響が想定されるため術後病理学的ステージは「適応外」とする ・原発巣切除のみを集計対象とする
	総合ステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、術後病理学的ステージとなる ・術前治療例、術後病理学的ステージが不詳例、または腫瘍切除を行っていない例は治療前ステージとなる

※用語の定義は「院内がん登録の標準登録様式 2016年版」による

<集計の定義>

●集計の対象

- 1.登録数（症例区分：80を除くすべての症例）
- 2.症例区分・来院経路・発見経緯（症例区分：80を除くすべての症例）
- 3.年齢区分別登録数（症例区分：80を除くすべての症例）
4. 部位別集計（胃・大腸・肝臓・肺・乳腺・前立腺・子宮頸部・造血器腫瘍）
 - ・登録数、登録数推移、局在コード別登録数（症例区分：80を除くすべての症例）
 - ・年齢区分別登録数（症例区分：80を除くすべての症例）
 - ・症例区分別登録数（症例区分：80を除くすべての症例）
 - ・UICC TNM 分類 治療前ステージ別（症例区分：20、30の症例）
 - ・UICC TNM 分類 術後病理学的ステージ別（症例区分：20、30の症例）
 - ・UICC TNM 分類 総合ステージ別（症例区分：20、30の症例）
 - ・UICC TNM 分類 総合ステージ別治療内容件数（症例区分：20、30の症例）

※症例区分

10：診断のみ

→自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合

20：自施設診断・自施設初回治療開始

→自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）

21：自施設診断・自施設初回治療継続

→自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

30：他施設診断・自施設治療開始

→他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）

31：他施設診断・自施設初回治療継続

→他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

40：初回治療終了後

→他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療の有無は問わない

80：その他

→10～40のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的で紹介されたが、自施設では治療は行わず、他施設へ紹介した場合も含まれる

●治療区分 以下の区分により集計

	治療区分	詳細
1	手術のみ	外科的治療または鏡視下治療を実施
2	内視鏡のみ	内視鏡的治療を実施
3	手術+内視鏡	外科的治療または鏡視下治療と内視鏡的治療を実施
4	放射線治療のみ	放射線治療を実施
5	薬物療法のみ	化学療法または内分泌療法を実施
6	放射線+薬物	放射線治療+化学療法または内分泌療法、放射線治療+化学療法+内分泌療法
7	薬物+その他	化学療法または内分泌療法+その他の治療、化学療法+内分泌療法+その他の治療
8	手術 or 内視鏡+放射線	外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+放射線治療
9	手術 or 内視鏡+薬物	外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+化学療法または内分泌療法 外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+化学療法+内分泌療法
10	手術 or 内視鏡+その他	外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+その他の治療
11	手術 or 内視鏡+放射線+薬物	外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+放射線治療+化学療法または内分泌療法 外科的治療または鏡視下治療または内視鏡的治療+放射線治療+化学療法+内分泌療法
12	その他の治療	上記 1～11 に当てはまらないもの
13	治療なし	経過観察または緩和的治療のみ実施

※「手術」には外科的治療・鏡視下治療を含む

※「薬物」には化学療法・内分泌療法を含む

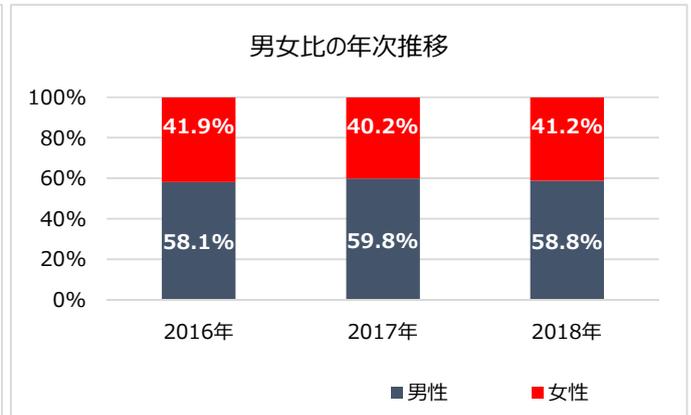
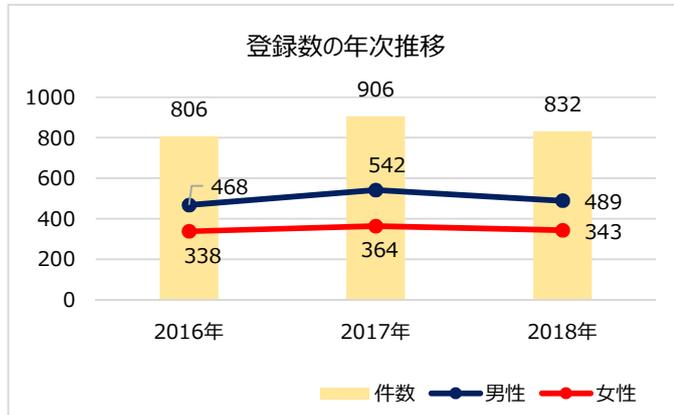
表1 部位分類コード対応

部位名	第1段階 ICD-O-3 形態コード	第2段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
消化器_その他		C21、C26
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
鼻腔・中耳		C30-C31
喉頭		C32
肺		C33-C34
胸腺		C37
胸腔内臓器_その他		C38-C39
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚		C44
後腹膜・腹膜		C48
乳房		C50
女性性器_その他		C51-C52、C55、C57-C58
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
卵巣		C56
男性性器_その他		C60-C63
前立腺		C61
精巣		C62
腎・尿路系		C64-C65、C66、C68
膀胱		C67
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
副腎		C74
悪性リンパ腫	959-972、974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
その他の造血器腫瘍	995-998、999	C42
原発不明		C80

1.登録数

1-1.登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年	
	登録数	構成比率(%)	登録数	構成比率(%)	登録数	構成比率(%)
全症例	972		1,017		999	
全体	972		1,017		999	
男性	543	(55.9%)	591	(58.1%)	571	(57.2%)
女性	429	(44.1%)	426	(41.9%)	428	(42.8%)
自施設治療開始症例	806		906		832	
全体	806		906		832	
男性	468	(58.1%)	542	(59.8%)	489	(58.8%)
女性	338	(41.9%)	364	(40.2%)	343	(41.2%)



1-2.部位別

診断年	2016年		2017年		2018年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口腔・咽頭	30	(3.1)	28	(2.8)	27	(2.7)
食道	30	(3.1)	25	(2.5)	21	(2.1)
胃	144	(14.8)	157	(15.4)	161	(16.1)
小腸	4	(0.4)	2	(0.2)	1	(0.1)
結腸	87	(9.0)	120	(11.8)	93	(9.3)
直腸	37	(3.8)	47	(4.6)	39	(3.9)
その他_消化器	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
肝臓	32	(3.3)	31	(3.0)	26	(2.6)
胆嚢・胆管	32	(3.3)	27	(2.7)	19	(1.9)
膵臓	34	(3.5)	44	(4.3)	43	(4.3)
鼻腔・中耳	1	(0.1)	1	(0.1)	2	(0.2)
喉頭	11	(1.1)	16	(1.6)	12	(1.2)
肺	125	(12.9)	118	(11.6)	115	(11.5)
胸腺	1	(0.1)	1	(0.1)	1	(0.1)
その他_胸腔内臓器	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)
骨・軟部	2	(0.2)	1	(0.1)	2	(0.2)
皮膚	9	(0.9)	6	(0.6)	14	(1.4)
後腹膜・腹膜	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
乳房	115	(11.8)	98	(9.6)	122	(12.2)
子宮頸部	49	(5.0)	48	(4.7)	34	(3.4)
子宮体部	7	(0.7)	8	(0.8)	8	(0.8)
その他_女性性器	2	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)
卵巣	7	(0.7)	3	(0.3)	12	(1.2)
前立腺	74	(7.6)	84	(8.3)	86	(8.6)
精巣	3	(0.3)	2	(0.2)	2	(0.2)
その他_男性性器	2	(0.2)	2	(0.2)	0	(0.0)
腎・尿路系	14	(1.4)	27	(2.7)	16	(1.6)
膀胱	32	(3.3)	41	(4.0)	41	(4.1)
脳・中枢神経系	2	(0.2)	4	(0.4)	4	(0.4)
甲状腺	14	(1.4)	12	(1.2)	10	(1.0)
副腎	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他	5	(0.5)	7	(0.7)	12	(1.2)
悪性リンパ腫	35	(3.6)	30	(2.9)	43	(4.3)
白血病	13	(1.3)	11	(1.1)	12	(1.2)
多発性骨髄腫	9	(0.9)	10	(1.0)	14	(1.4)
その他の造血器腫瘍	8	(0.8)	6	(0.6)	5	(0.5)
合計	972		1017		999	

2. 症例区分・来院経路・発見経緯

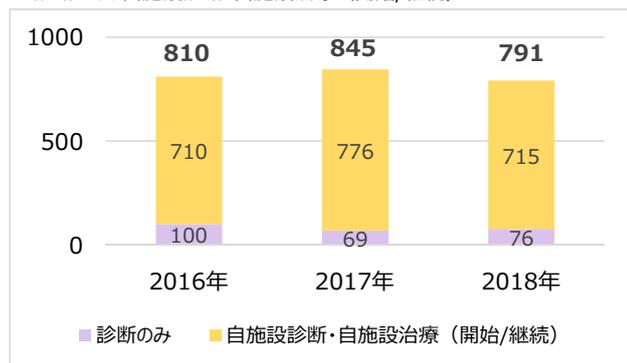
2-1. 症例区分

★当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、自施設でどのように関係したかを判断するための項目

区分	2016年		2017年		2018年	
	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)
診断のみ	100	(10.3)	69	(6.8)	76	(7.6)
自施設診断・自施設治療開始	706	(72.6)	776	(76.3)	715	(71.6)
自施設診断・自施設治療継続	4	(0.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
他施設診断・自施設診断開始	100	(10.3)	130	(12.8)	117	(11.7)
他施設診断・自施設診断継続	60	(6.2)	40	(3.9)	70	(7.0)
初回治療終了後	2	(0.2)	2	(0.2)	21	(2.1)
合計	972		1,017		999	

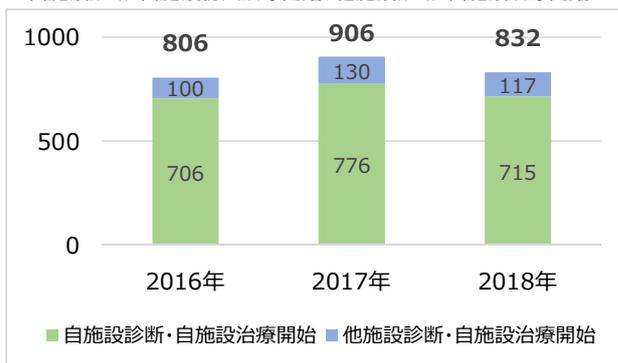
●自施設でがんを診断した症例数

<診断のみ、自施設診断・自施設治療（開始/継続）>



●自施設初回治療開始症例数

<自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設治療開始>



2-2. 来院経路

★当該腫瘍の診断・治療のため、患者がどのような経路によって自施設を受診したのかを把握する項目

区分	2016年		2017年		2018年	
	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)
自主的受診	164	(16.9)	159	(15.6)	160	(16.0)
他施設からの紹介	669	(68.8)	669	(65.8)	681	(68.2)
自施設での他疾患経過観察中	127	(13.1)	189	(18.6)	148	(14.8)
その他	12	(1.2)	0	(0.0)	10	(1.0)
不明	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	972		1,017		999	

*その他

- ・自主的受診、他施設からの紹介、自施設での他疾患経過観察中に当てはまらないもの
- ・剖検で発見された場合を含む
- ・救急車等での受診を含む

2-3. 発見経緯

★当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目

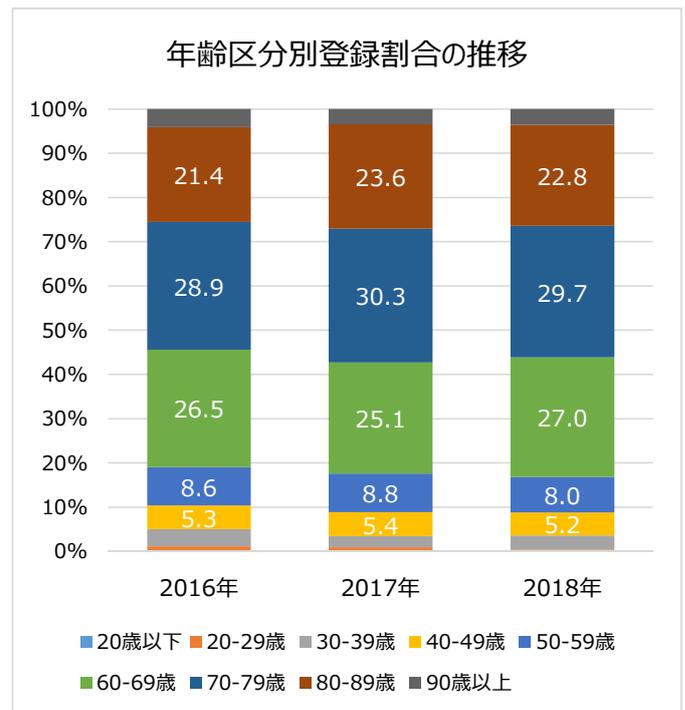
区分	2016年		2017年		2018年	
	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)	件数	構成比率(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	167	(17.2)	205	(20.2)	222	(22.2)
他疾患経過観察中の偶然発見	210	(21.6)	297	(29.2)	250	(25.0)
剖検発見（Aiを含む）	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他	586	(60.3)	512	(50.3)	527	(52.8)
不明	9	(0.9)	3	(0.3)	0	(0.0)
合計	972		1,017		999	

*その他

- ・がん検診/健康診断/人間ドック、他疾患経過観察中の偶然発見、剖検発見に当てはまらないもの
- ・何らかの症状（自覚症状）による受診を含む

3.年齢区分別登録数

診断年	2016年		2017年		2018年	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
20歳以下	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
20-29歳	10	(1.0)	9	(0.9)	4	(0.4)
30-39歳	38	(3.9)	26	(2.6)	32	(3.2)
40-49歳	52	(5.3)	55	(5.4)	52	(5.2)
50-59歳	84	(8.6)	89	(8.8)	80	(8.0)
60-69歳	258	(26.5)	255	(25.1)	270	(27.0)
70-79歳	281	(28.9)	308	(30.3)	297	(29.7)
80-89歳	208	(21.4)	240	(23.6)	228	(22.8)
90歳以上	40	(4.1)	35	(3.4)	36	(3.6)
合計	972		1017		999	



男女別

診断年	2016年				2017年				2018年			
	男性	構成比(%)	女性	構成比(%)	男性	構成比(%)	女性	構成比(%)	男性	構成比(%)	女性	構成比(%)
20歳以下	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
20-29歳	1	(0.2)	9	(2.1)	2	(0.3)	7	(1.6)	0	(0.0)	4	(0.9)
30-39歳	3	(0.6)	35	(8.2)	3	(0.5)	23	(5.4)	11	(1.9)	21	(4.9)
40-49歳	18	(3.3)	34	(7.9)	13	(2.2)	42	(9.9)	10	(1.8)	42	(9.8)
50-59歳	39	(7.2)	45	(10.5)	40	(6.8)	49	(11.5)	37	(6.5)	43	(10.0)
60-69歳	151	(27.8)	107	(24.9)	158	(26.7)	97	(22.8)	173	(30.3)	97	(22.7)
70-79歳	191	(35.2)	90	(21.0)	222	(37.6)	86	(20.2)	203	(35.6)	94	(22.0)
80-89歳	122	(22.5)	86	(20.0)	140	(23.7)	100	(23.5)	122	(21.4)	106	(24.8)
90歳以上	17	(3.1)	23	(5.4)	13	(2.2)	22	(5.2)	15	(2.6)	21	(4.9)
合計	543		429		591		426		571		428	

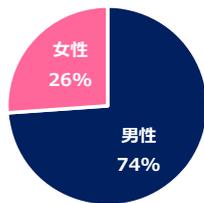


4. 部位別集計

部位別：胃

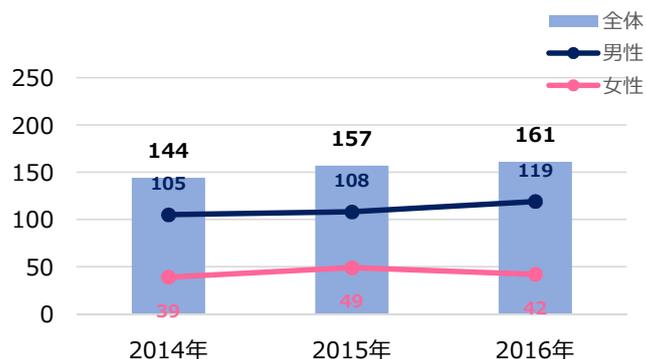
1. 登録数（男女割合）

	登録数
全体	161
男性	119
女性	42



当院全登録数に占める胃癌の割合 **16.1%**

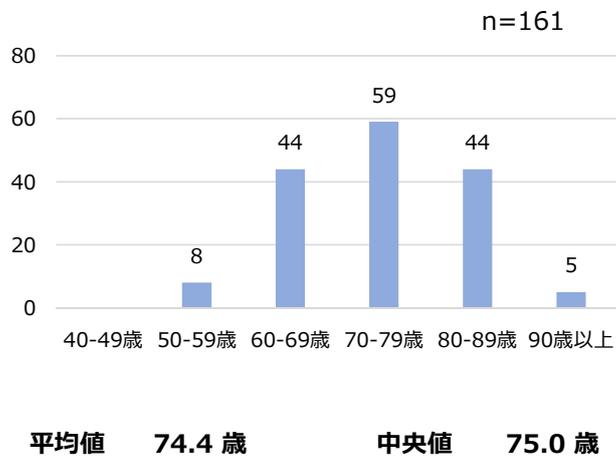
2. 登録数の推移



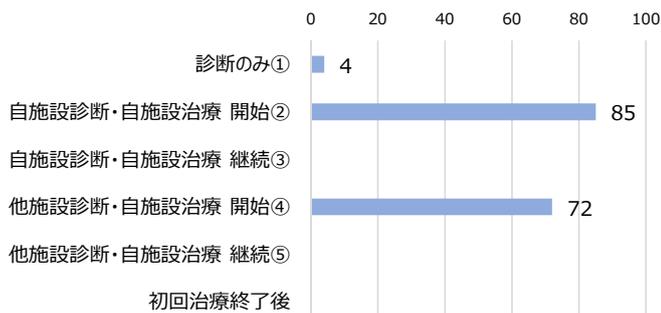
3. 局在コード別登録数

局在コード	部位名	登録数
C160	噴門	11
C161	胃底部	3
C162	胃体部	84
C163	胃前庭部	59
C164	幽門	1
C165	胃小彎	2
C169	胃、部位不明	1
合計		161

4. 年齢区分別登録数



5. 症例区分別登録数

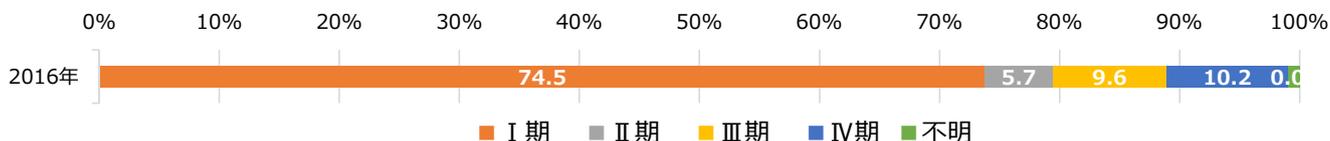


	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	157	97.5%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	89	55.3%

6. UICC TNM 治療前ステージ別

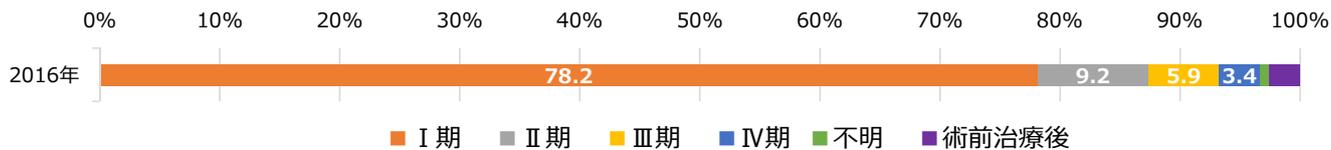
<自施設で初回治療開始した症例、癌腫>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	---	117	9	15	16	0	157
割合	---	74.5	5.7	9.6	10.2	0.0	---



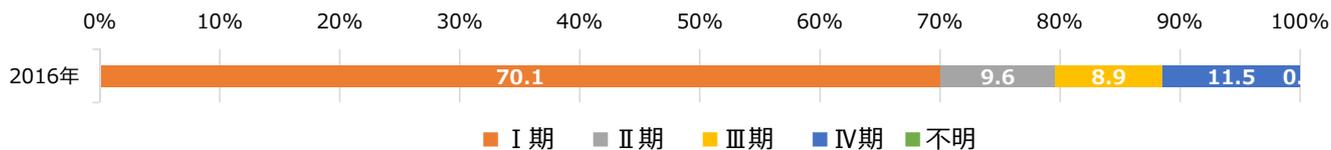
7.UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫、観血的治療実施症例のみ>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数	---	93	11	7	4	1	3	119
割合	---	78.2	9.2	5.9	3.4	0.8	2.5	---

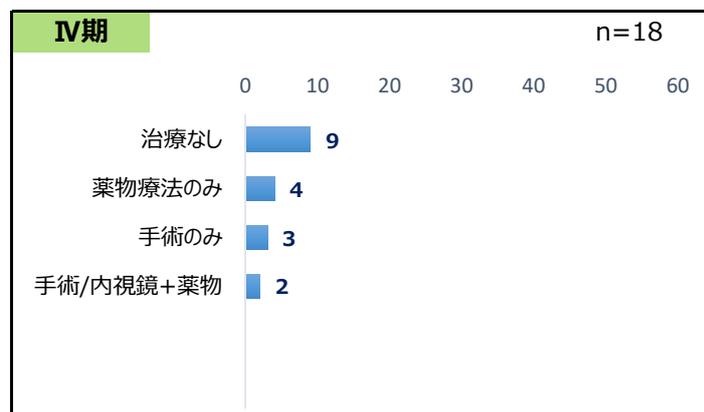
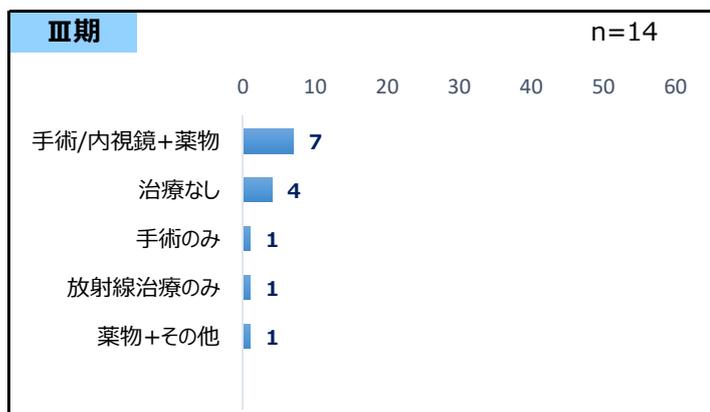
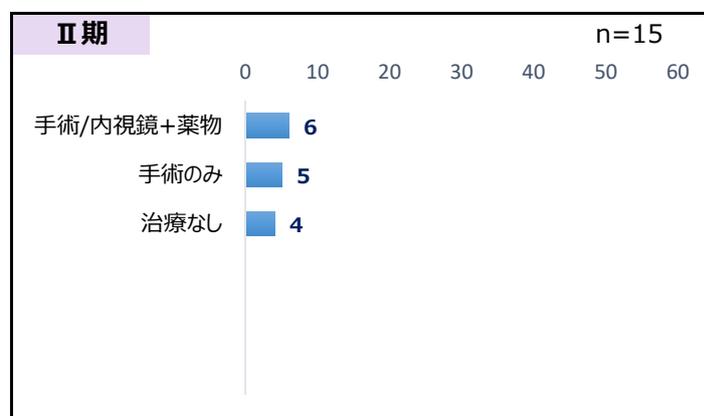
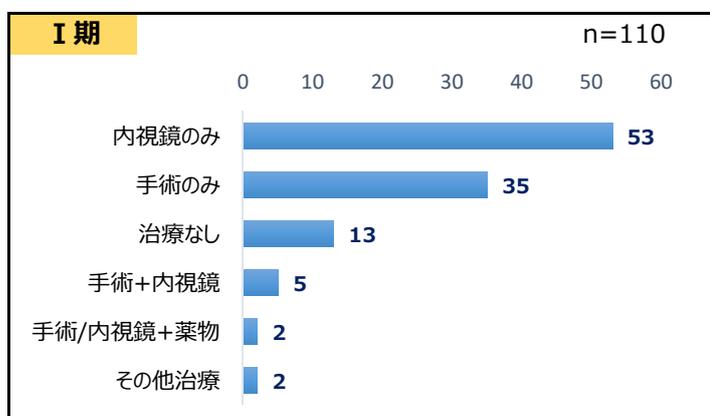


8.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	---	110	15	14	18	0	157
割合	---	70.1	9.6	8.9	11.5	0.0	---

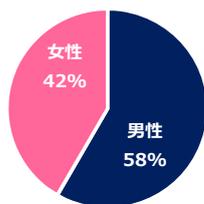


9.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、不明除く>



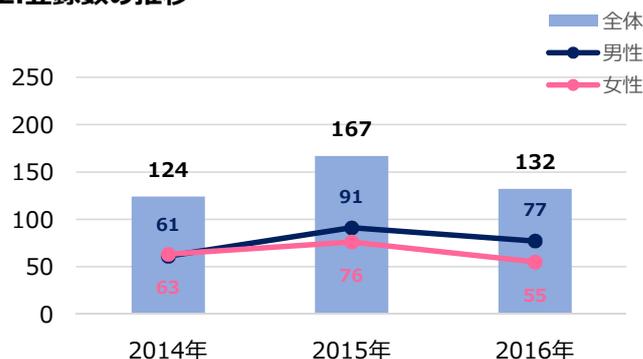
1.登録数（男女割合）

	登録数
全体	132
男性	77
女性	55



当院全登録数に占める大腸癌の割合 **13.2%**

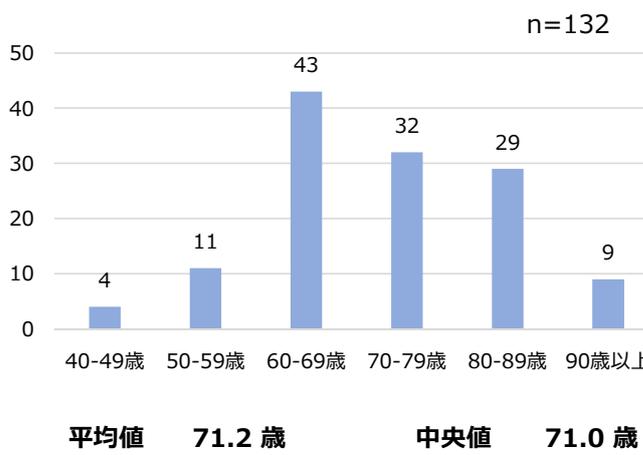
2.登録数の推移



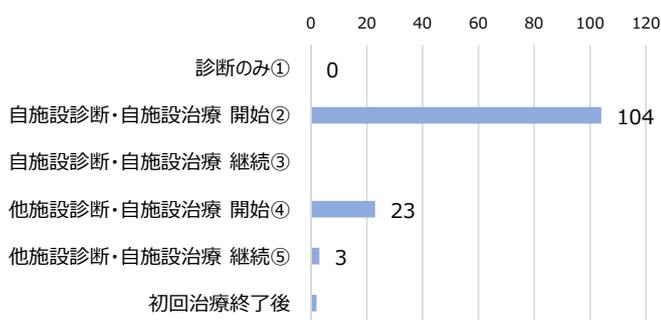
3.局在コード別登録数

局在コード	部位名	登録数
C180	盲腸	18
C181	虫垂	2
C182	上行結腸	24
C184	横行結腸	11
C185	左結腸曲	1
C186	下行結腸	9
C187	S状結腸	28
C199	直腸S状結腸	15
C209	直腸	24
合計		132

4.年齢区分別登録数



5.症例区分別登録数

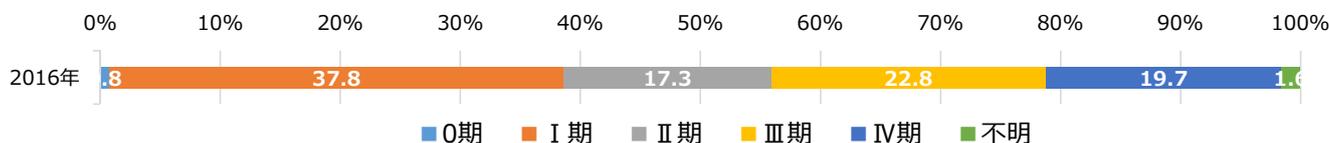


		N=132	
	登録数	割合	
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	127	96.2%	
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	104	78.8%	

6.UICC TNM 治療前ステージ別

＜自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ＞

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	1	48	22	29	25	2	127
割合	0.8	37.8	17.3	22.8	19.7	1.6	---



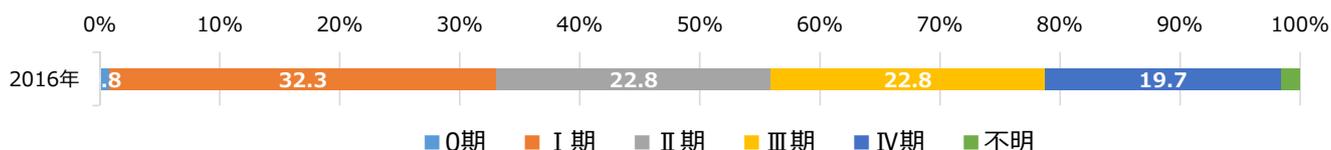
7.UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、観血的治療実施症例のみ>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数	1	31	26	23	7	1	2	91
割合	1.1	34.1	28.6	25.3	7.7	1.1	2.2	---

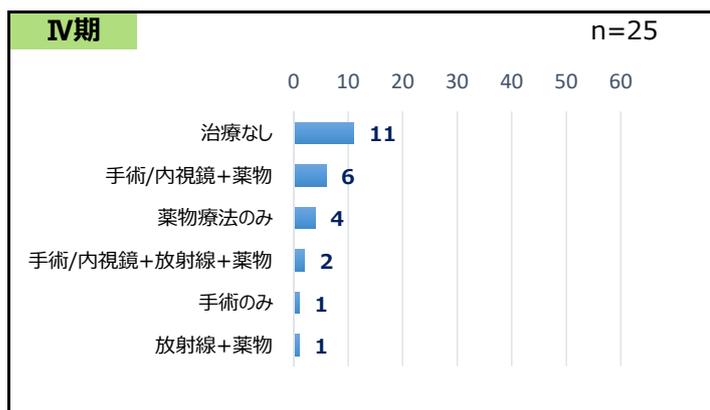
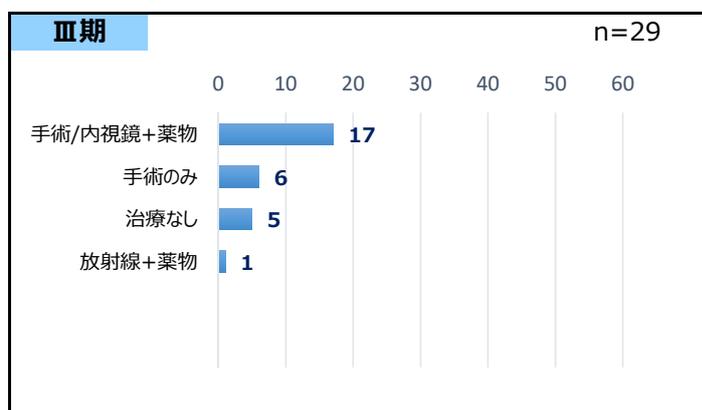
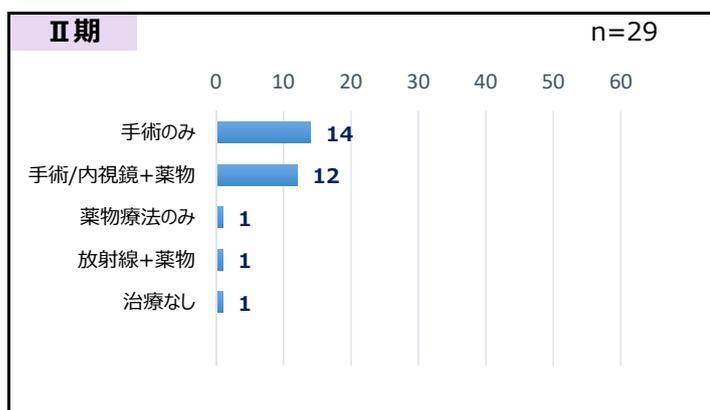
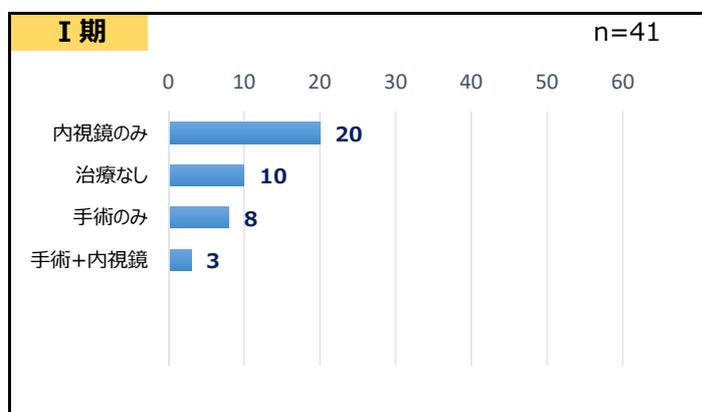
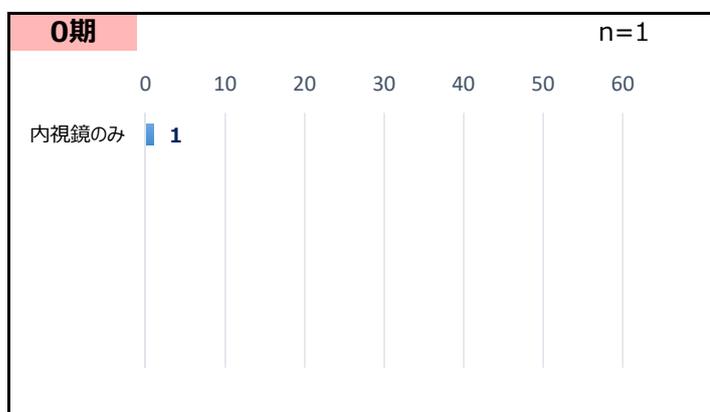


8.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	1	41	29	29	25	2	127
割合	0.8	32.3	22.8	22.8	19.7	1.6	---

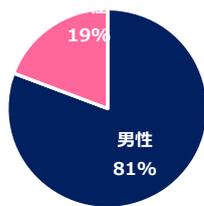


9.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>



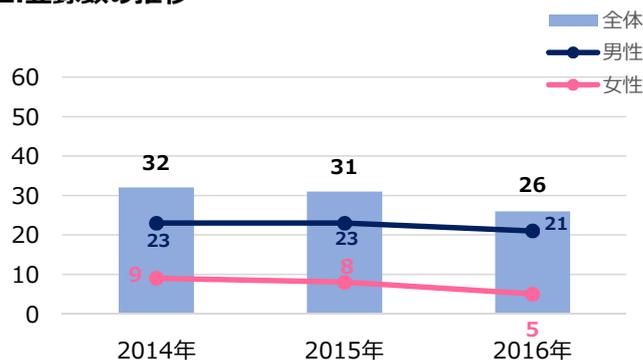
1.登録件数（男女割合）

	登録数
全体	26
男性	21
女性	5



当院全登録数に占める肝癌の割合 **2.6%**

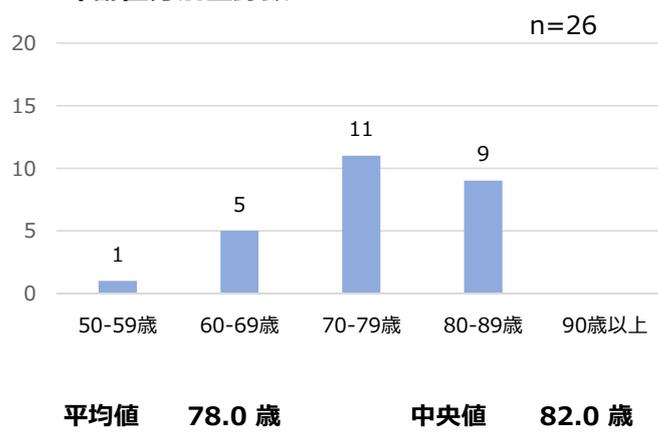
2.登録数の推移



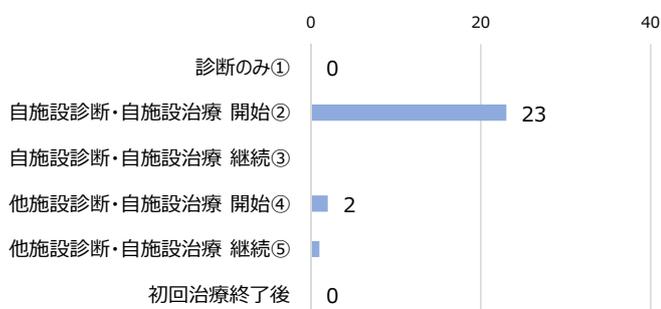
3.局在コード別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	20
C221	肝内胆管	6
合計		26

4.年齢区分別登録数



5.症例区分別登録数

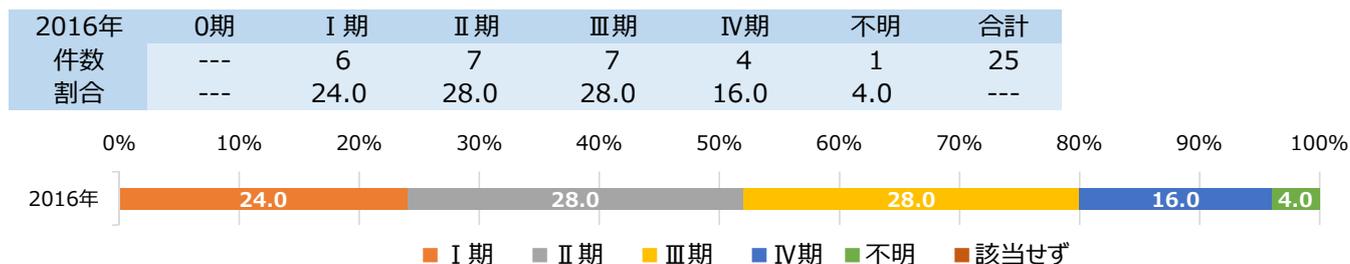


	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	25	96.2%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	23	88.5%

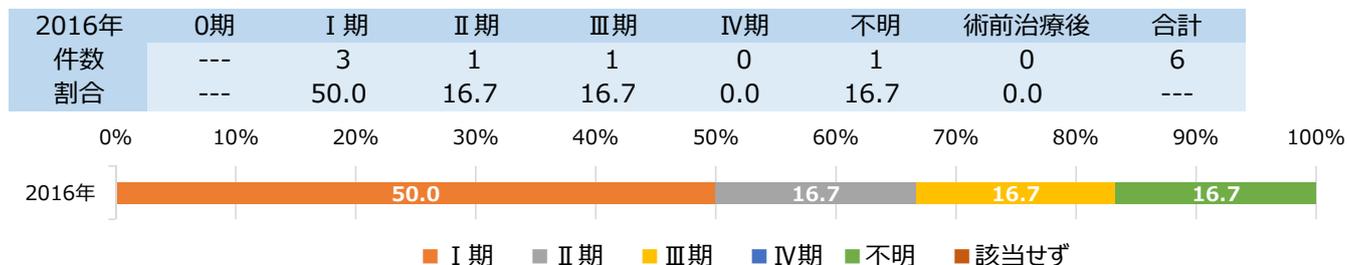
N=26

6.UICC TNM 治療前ステージ別

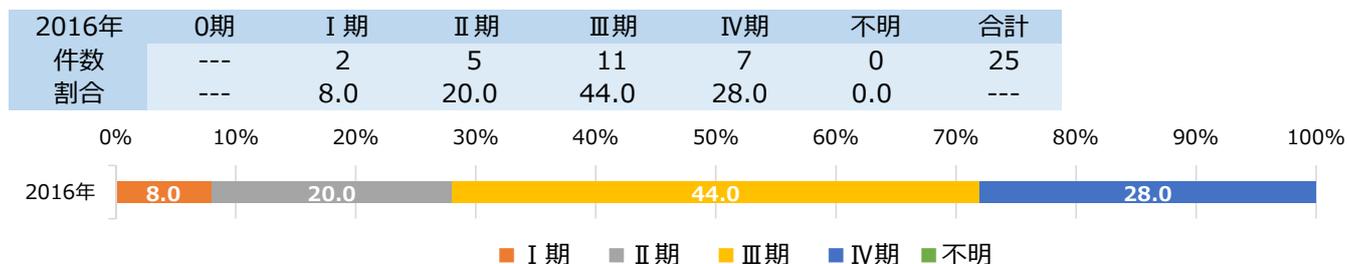
<自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>



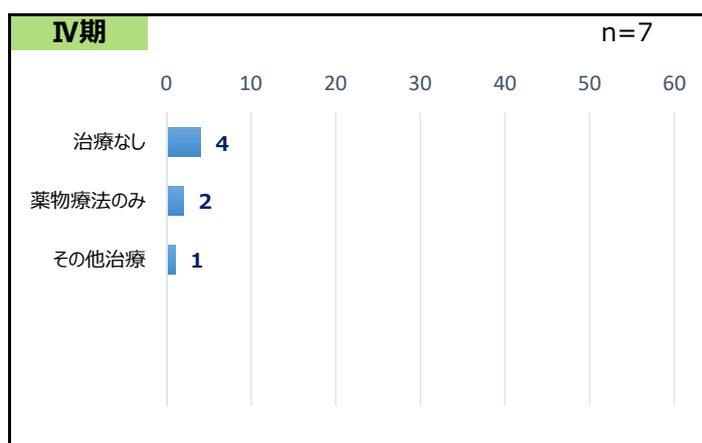
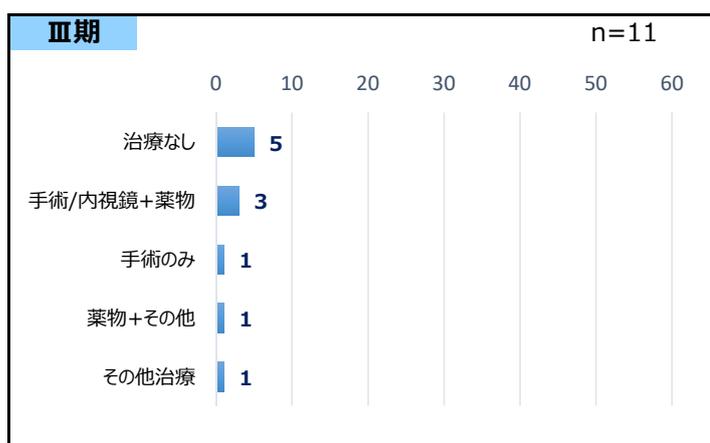
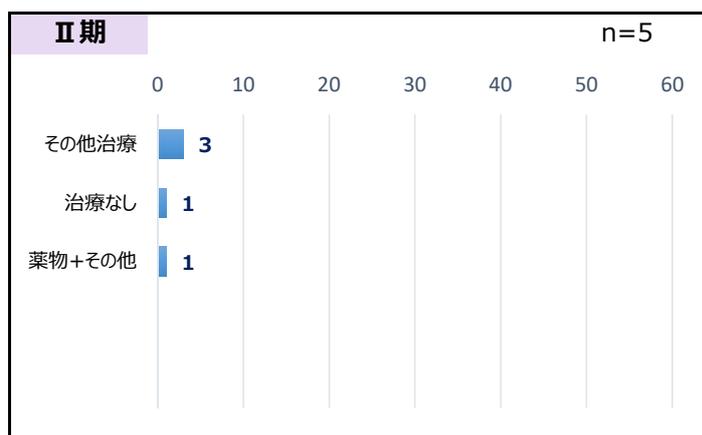
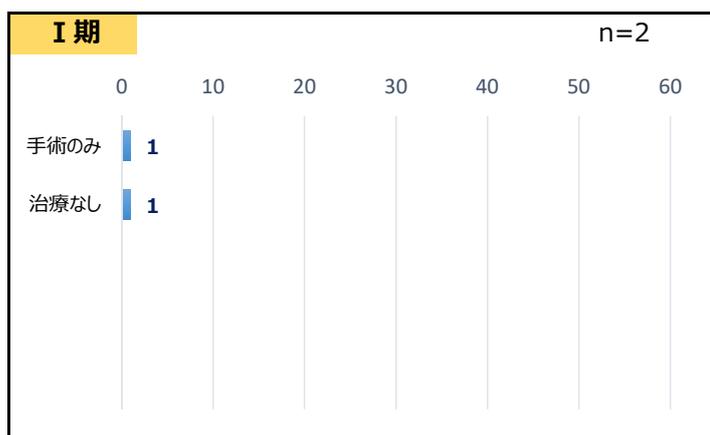
7.UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、観血的治療実施症例のみ>



8.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>

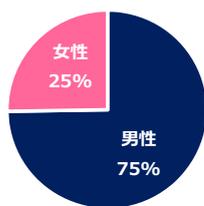


9.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、不明除く>



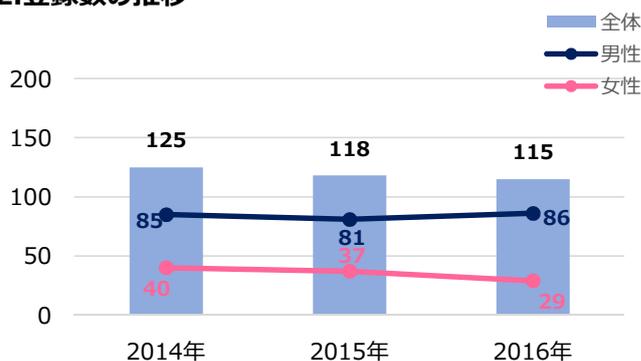
1.登録件数（男女割合）

	登録数
全体	115
男性	86
女性	29



当院全登録数に占める肺癌の割合 **11.5%**

2.登録数の推移



3.局在コード・組織型別件数

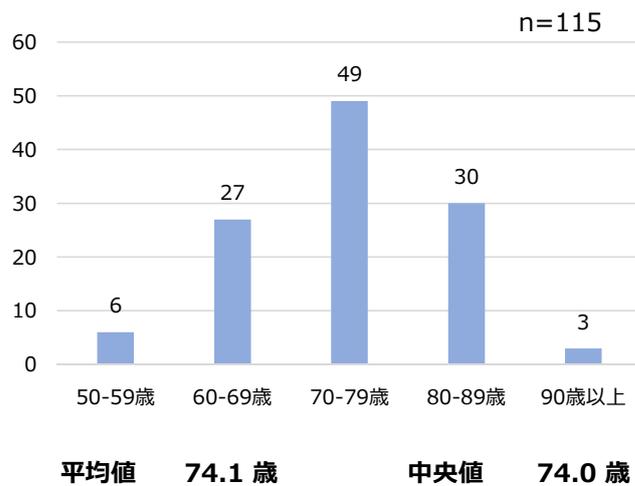
<詳細部位>

局在コード	部位名	登録数
C340	主気管支	6
C341	上葉・肺尖部	47
C342	中葉	12
C343	下葉	46
C349	肺NOS	4
合計		115

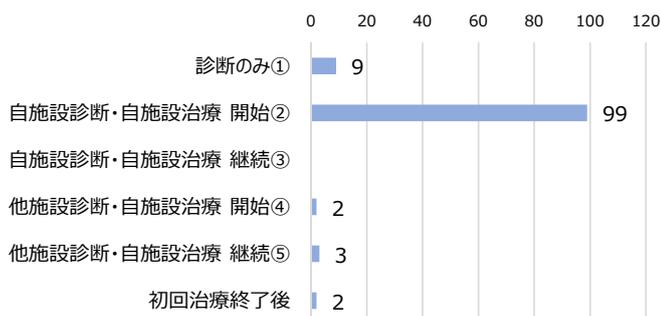
<組織型>

組織型	登録数
小細胞癌	8
非小細胞癌	107
合計	115

4.年齢区分別登録数



5.症例区分別登録数



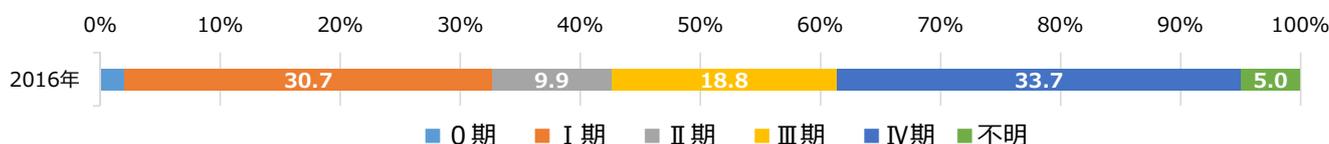
	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	101	87.8%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	108	93.9%

N=115

6.UICC TNM 治療前ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>

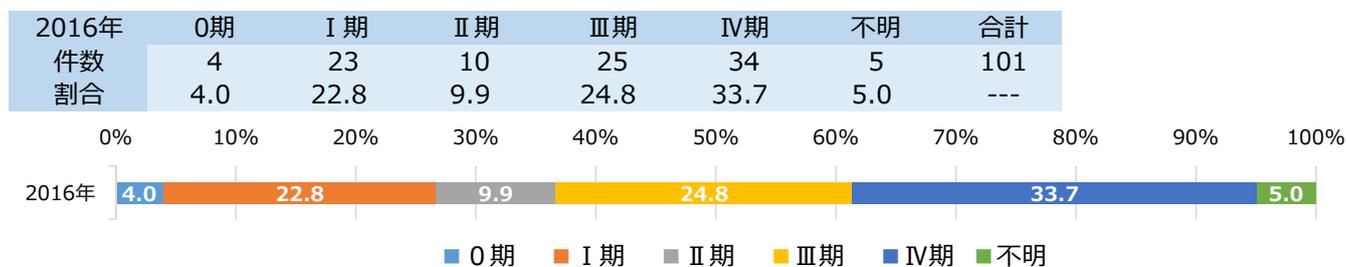
2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	2	31	10	19	34	5	101
割合	2.0	30.7	9.9	18.8	33.7	5.0	---



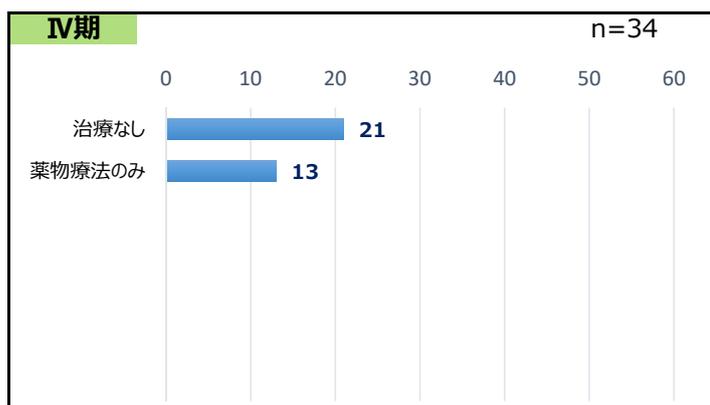
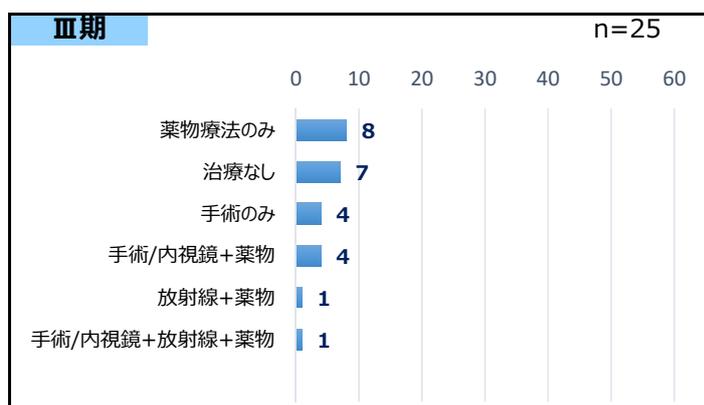
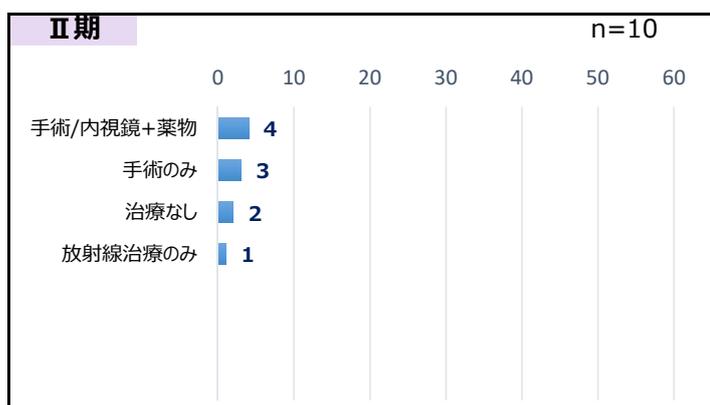
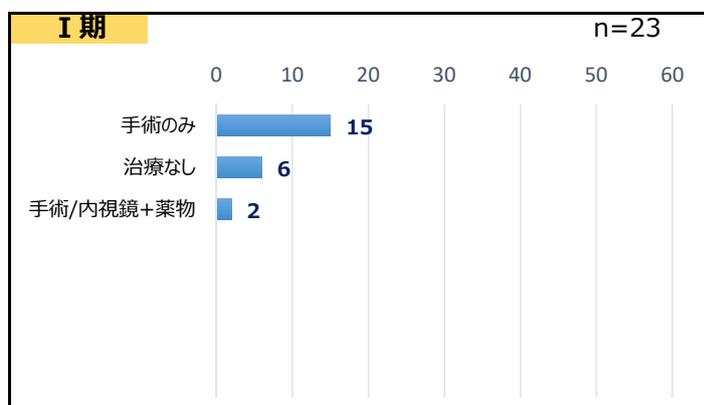
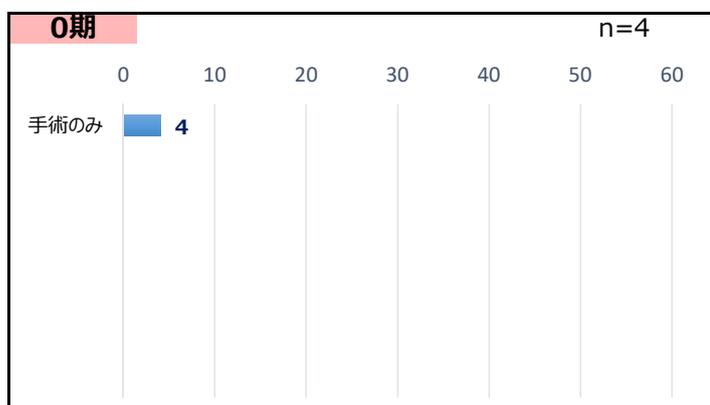
7.UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、観血的治療実施症例のみ>



8.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>



9.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、不明除く>



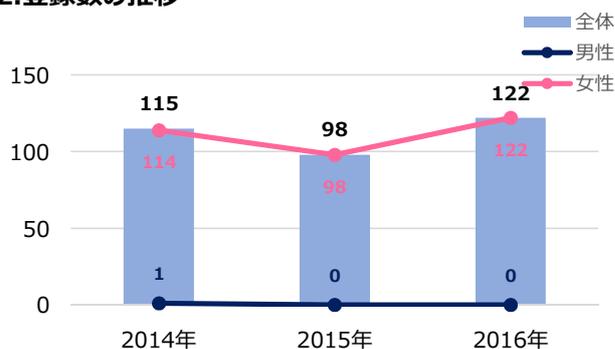
1.登録件数（男女割合）

	登録数
全体	122
男性	0
女性	122



当院全登録数に占める乳癌の割合 **12.2%**

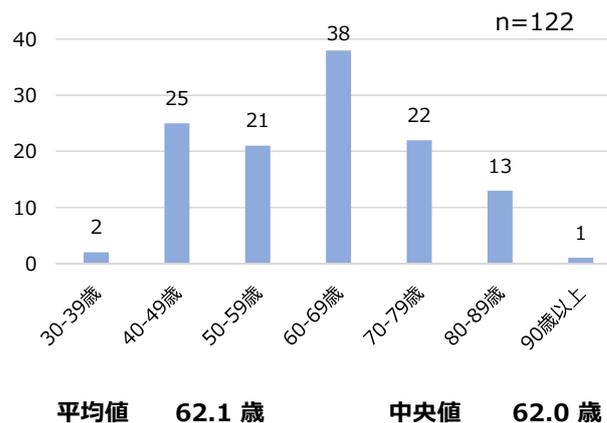
2.登録数の推移



3.局在コード別登録数

局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)	1
C501	E(乳輪部)	5
C502	A領域(乳房内上部)	37
C503	B領域(乳房内下部)	13
C504	C領域(乳房外上部)	51
C505	D領域(乳房外下部)	14
C506	C'(乳房の腋窩尾部)	0
C508	境界部病巣	1
合計		122

4.年齢区分別登録数



5.症例区分別登録数

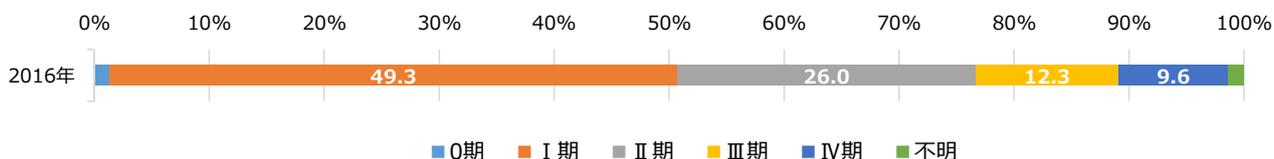


	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	73	59.8%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	75	61.5%

6.UICC TNM 治療前ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>

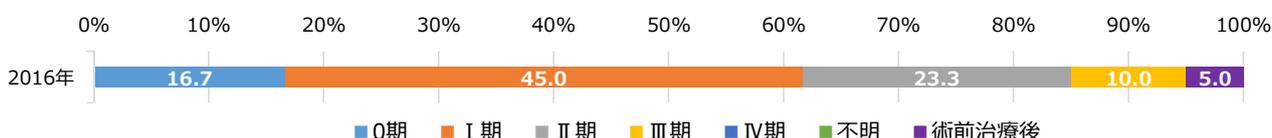
2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	1	36	19	9	7	1	73
割合	1.4	49.3	26.0	12.3	9.6	1.4	---



7.UICC TNM 術後病理学的ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、自施設観血的治療実施症例のみ>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数	10	27	14	6	0	0	3	60
割合	16.7	45.0	23.3	10.0	0.0	0.0	5.0	---



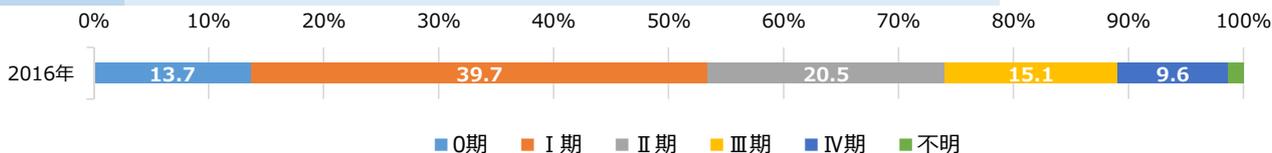
<自施設での初回治療継続症例で他施設において初回治療として観血的治療実施症例のみ、癌腫のみ>

2016年	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	8	24	8	2	1	0	43
割合	18.6	55.8	18.6	4.7	2.3	0.0	---

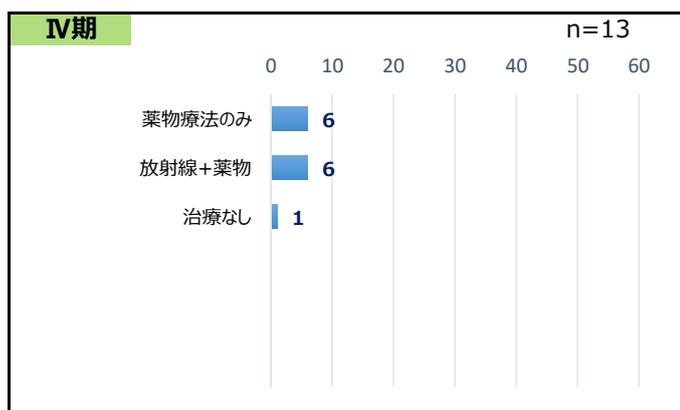
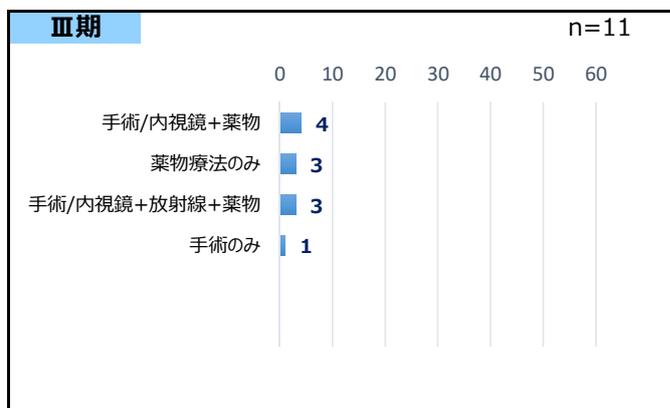
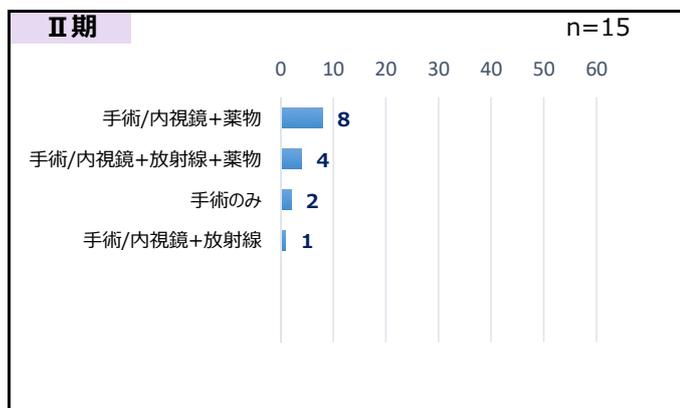
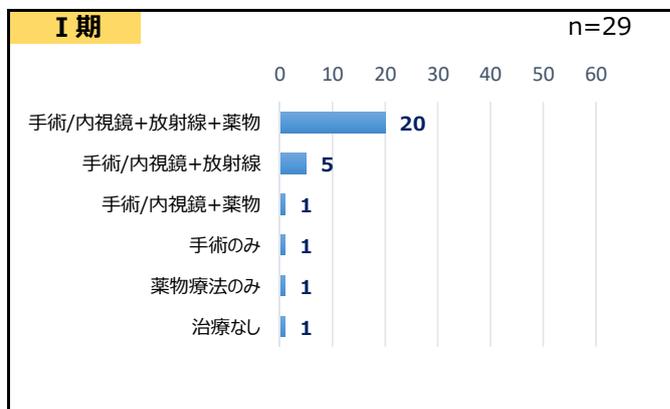
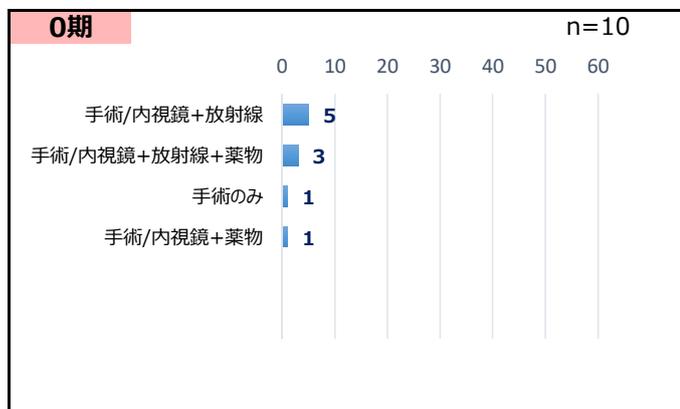


8.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	29	15	11	7	1	73
割合	13.7	39.7	20.5	15.1	9.6	1.4	---



9.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、不明除く>



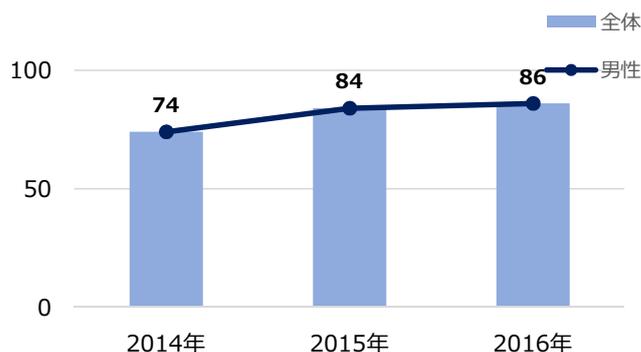
1.登録件数（男女割合）

	登録数
全体	86
男性	86
女性	0

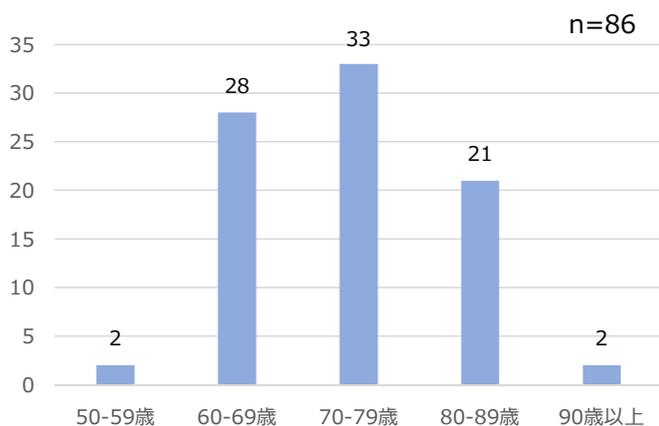


当院全登録数に占める前立腺癌の割合 **8.6%**

2.登録数の推移



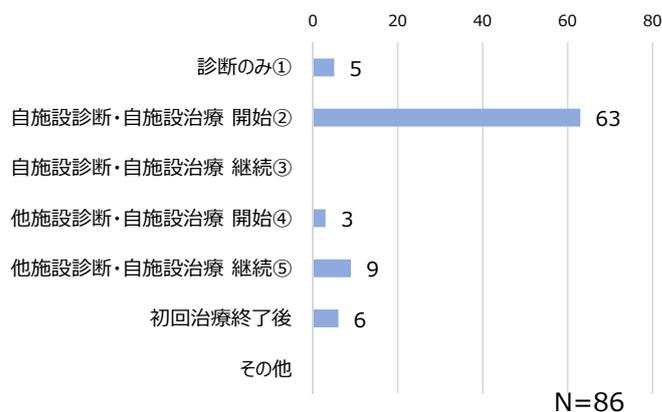
3.年齢区分別登録数



平均値 **73.7 歳**

中央値 **73.5 歳**

4.症例区分別登録数



	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	66	76.7%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	68	79.1%

5.UICC TNM 治療前ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫>



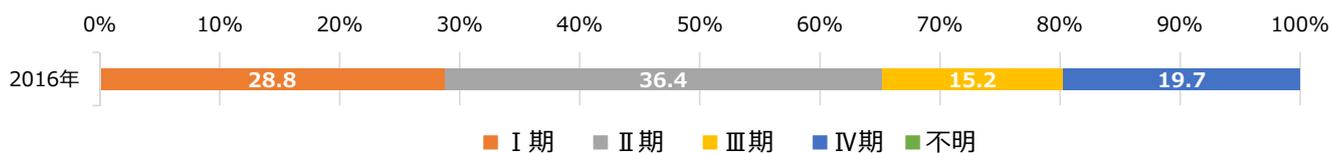
6.UICC TNM 術後病理学的ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫、観血的治療実施症例のみ>

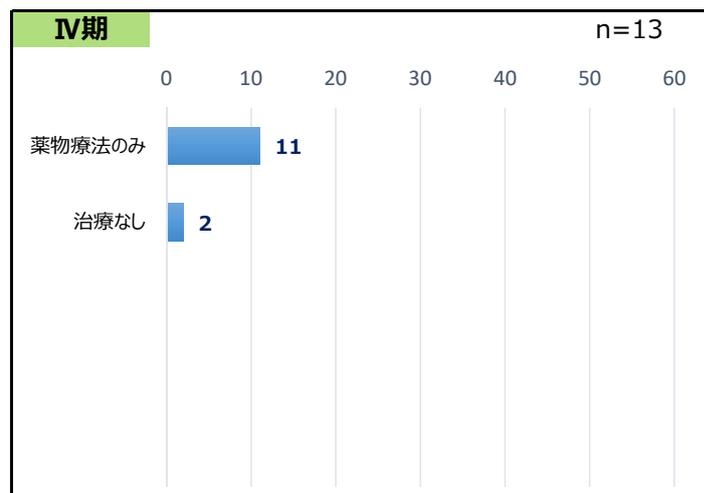
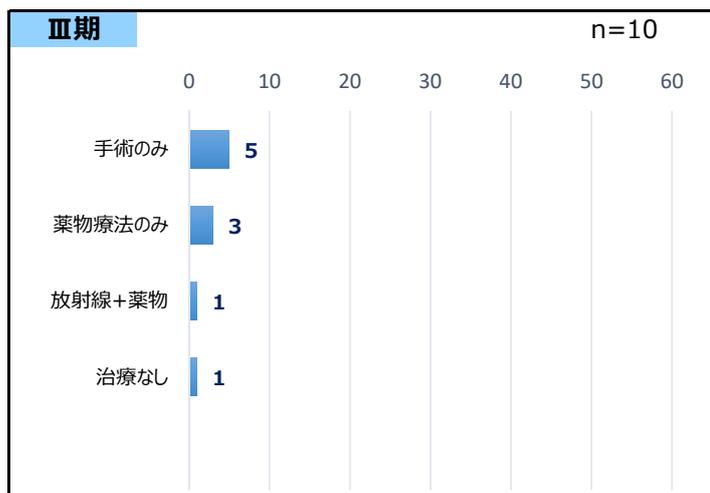
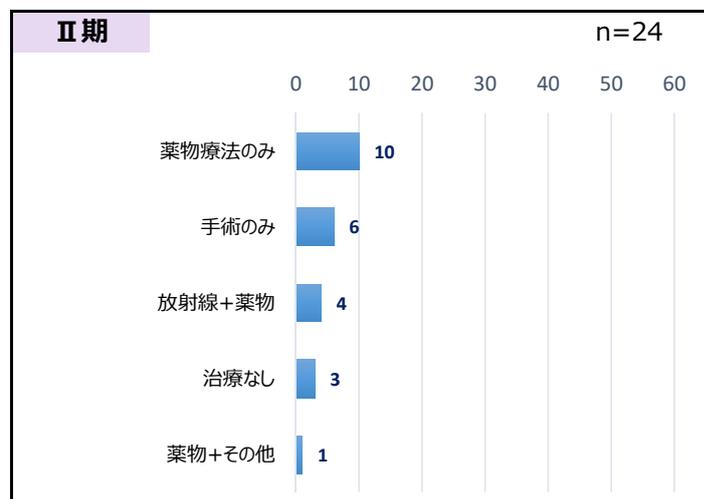
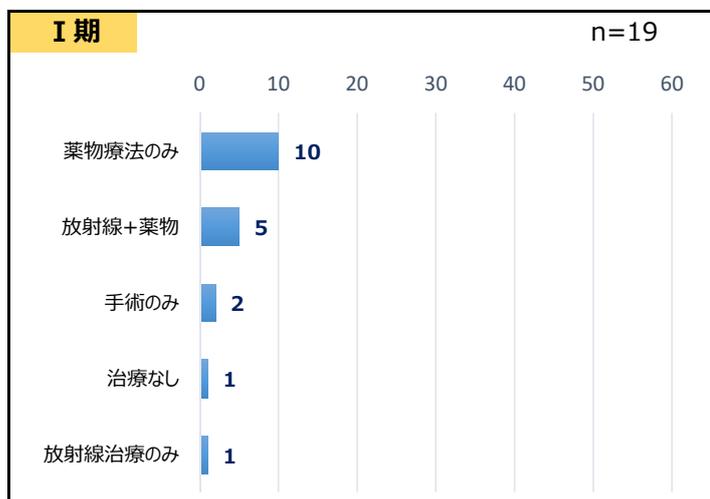


7.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	---	19	24	10	13	0	66
割合	---	28.8	36.4	15.2	19.7	0.0	---



8.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫>



1.登録件数（男女割合）

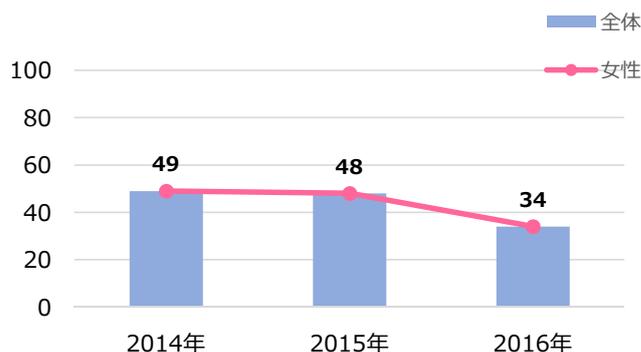
	登録数
全体	34
男性	0
女性	34



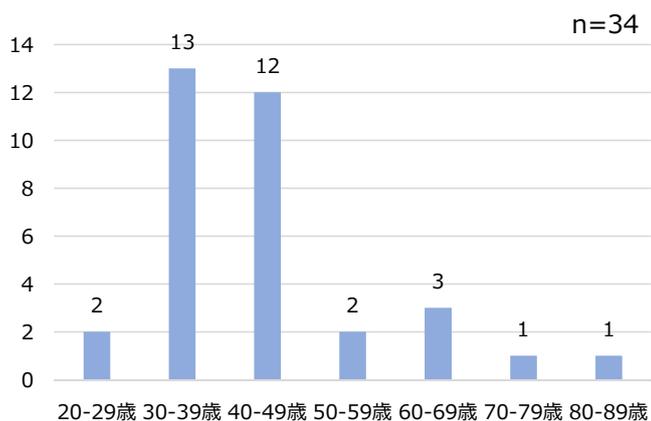
当院全登録数に占める子宮頸癌の割合
(子宮頸部高度異形成含む)

3.4%

2.登録数の推移



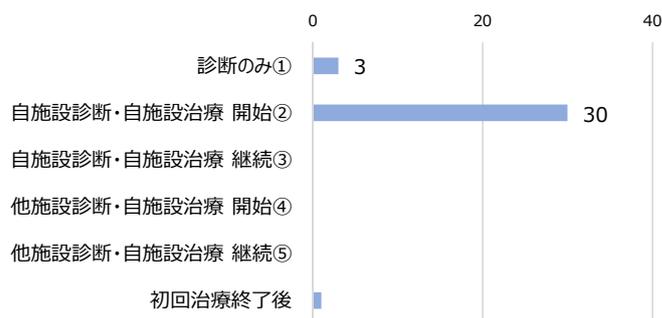
3.年齢区分別登録数



平均値 43.8 歳

中央値 41.0 歳

4.症例区分別登録数

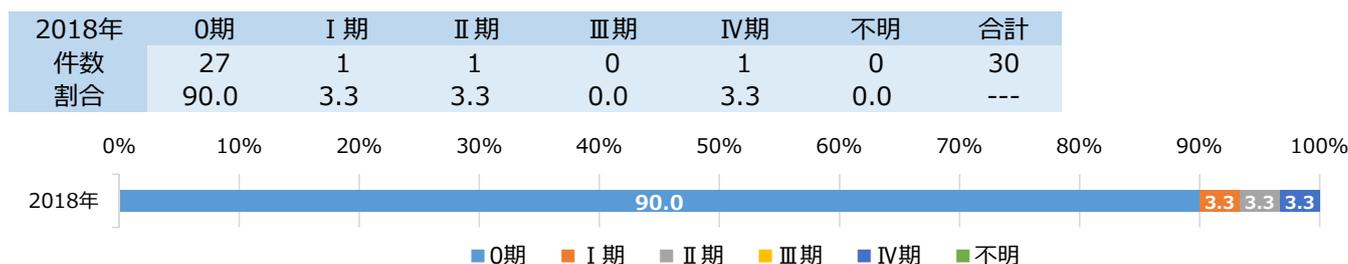


	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	30	88.2%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	33	97.1%

N=34

5.UICC TNM 治療前ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫>



6.UICC TNM 術後病理学的ステージ別

<自施設で初回治療開始した症例、癌腫、観血的治療実施症例>

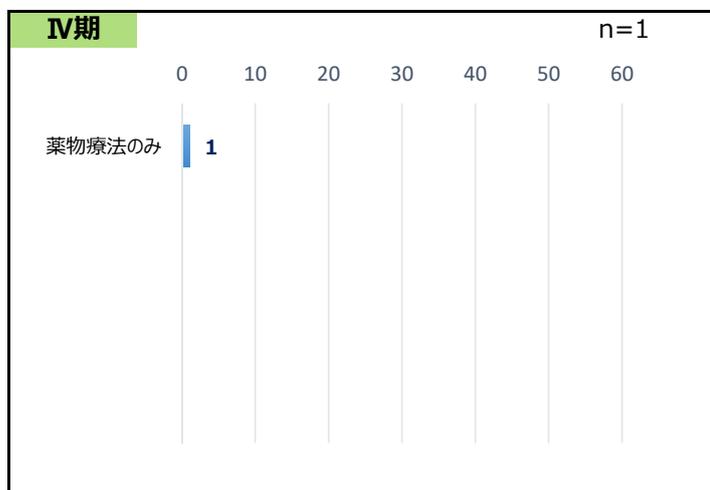
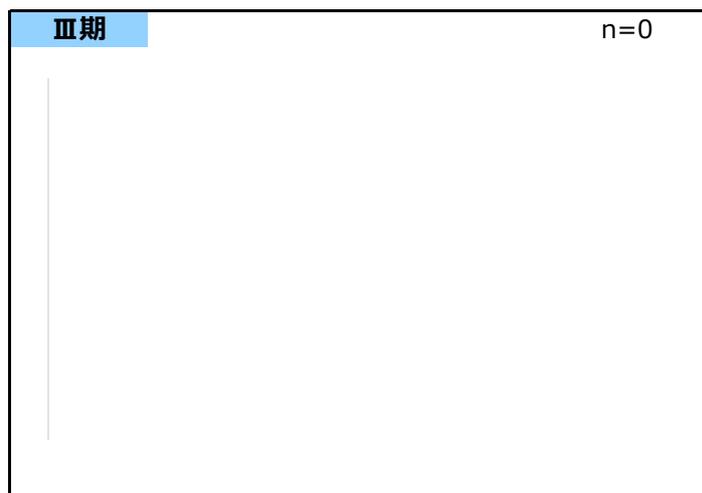
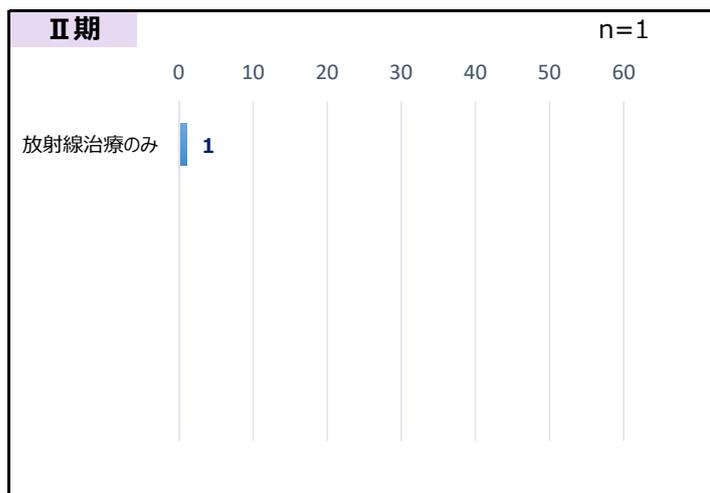
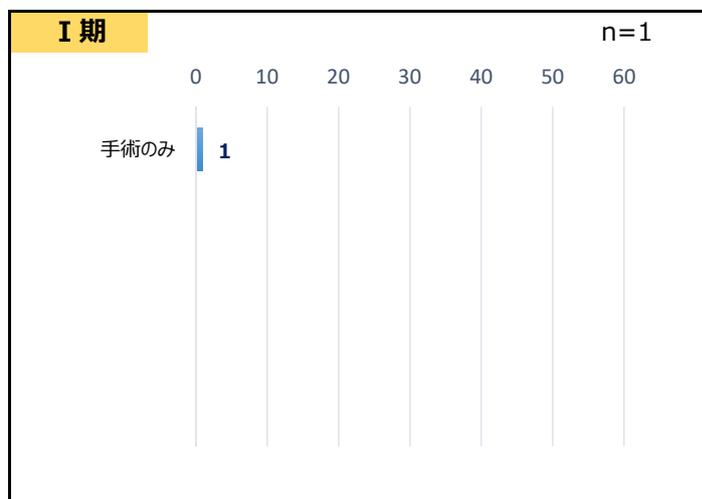
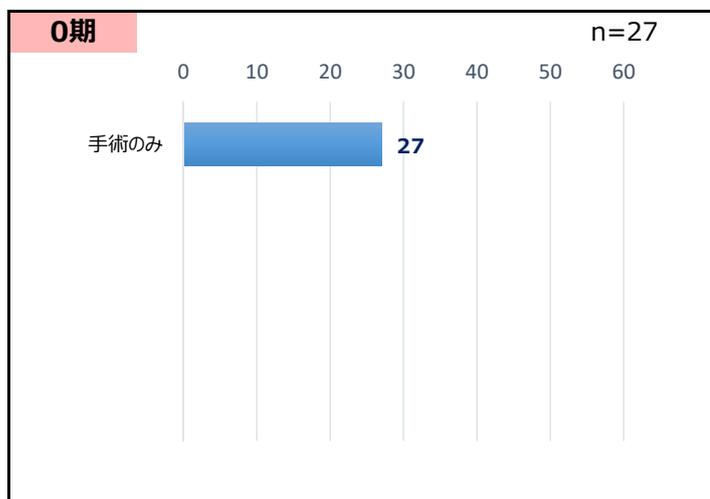


7.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫>

2018年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	27	1	1	0	1	0	30
割合	90.0	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	---

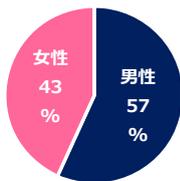


8.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例、癌腫のみ、不明除く>

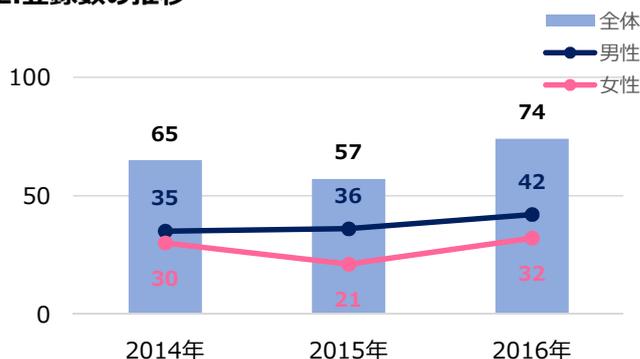


1.登録数（男女割合）

	男性	女性	全件
悪性リンパ腫	26	17	43
多発性骨髄腫	7	7	14
白血病	8	4	12
その他の造血器腫瘍	1	4	5
合計	42	32	74

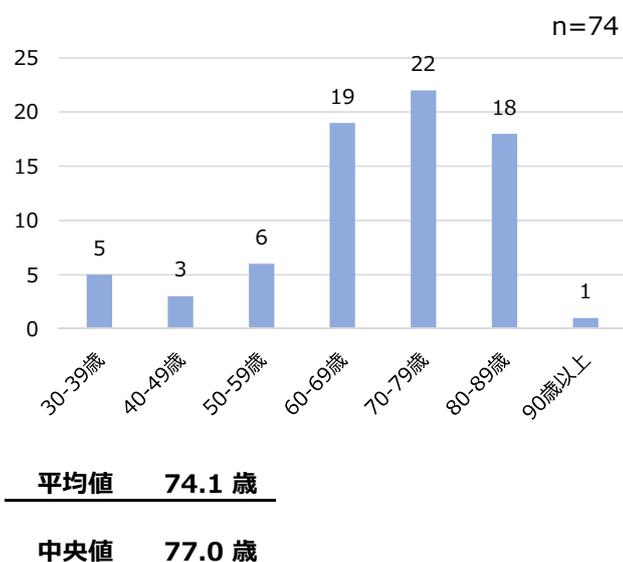


2.登録数の推移

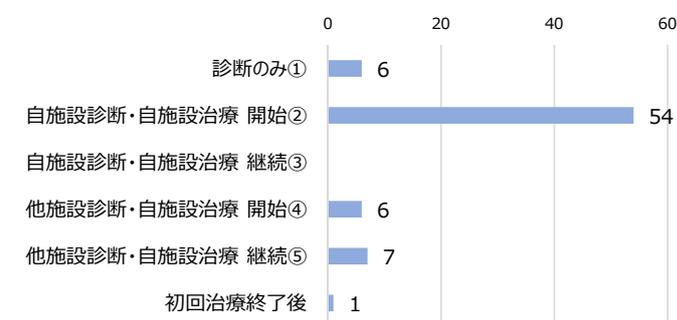


当院全登録数に占める造血器腫瘍の割合 **7.4%**

3.年齢区分別登録数



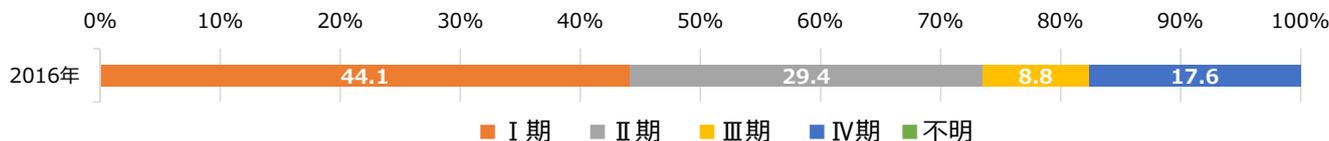
4.症例区分別登録数



	登録数	割合
自施設で初回治療が実施された症例 ②+④	60	81.1%
自施設で癌と診断された症例 ①+②+③	60	81.1%

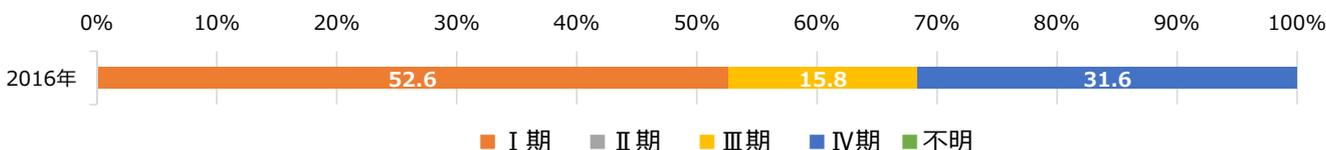
5.UICC TNM 治療前ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、悪性リンパ腫>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	---	15	10	3	6	0	34
割合	---	44.1	29.4	8.8	17.6	0.0	---

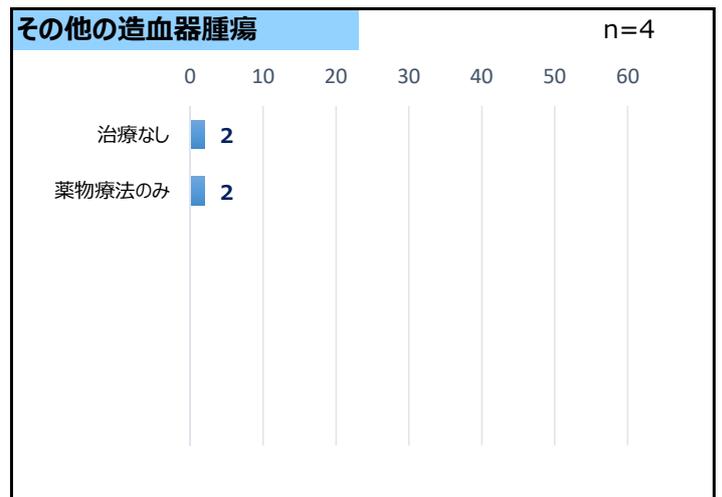
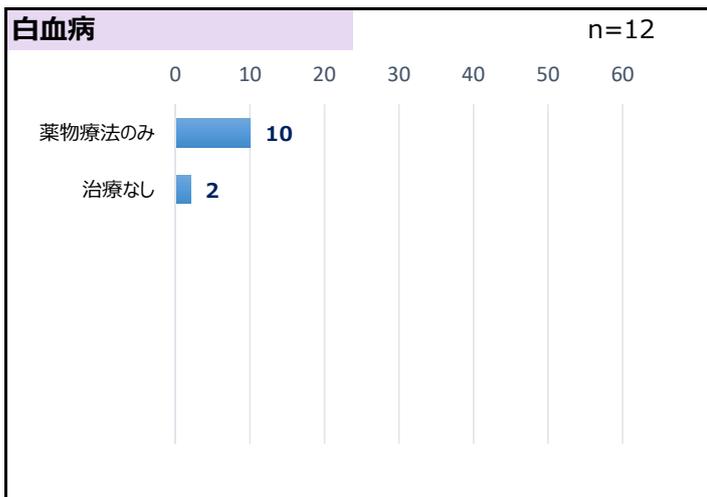
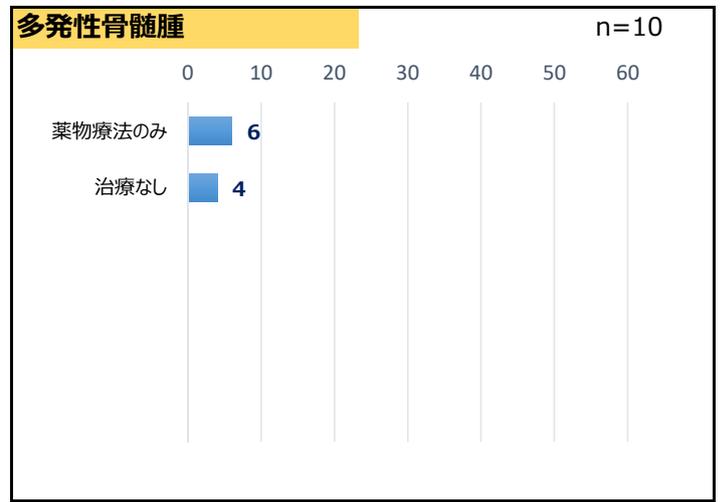
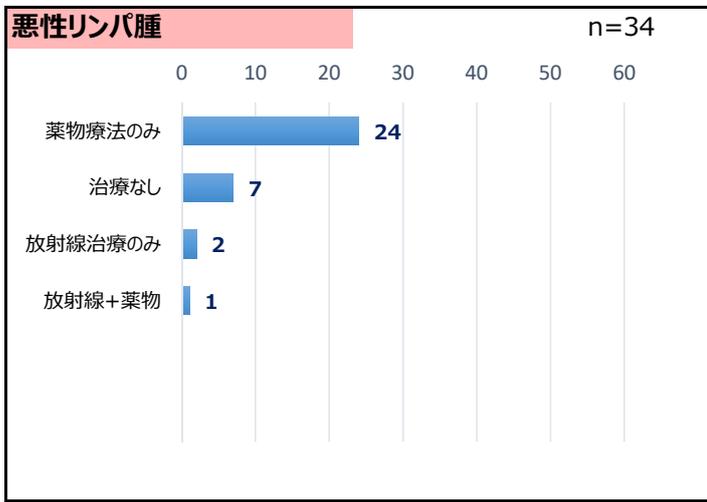


7.UICC TNM 総合ステージ別 <自施設で初回治療開始した症例、悪性リンパ腫>

2016年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	---	10	0	3	6	0	19
割合	---	52.6	0.0	15.8	31.6	0.0	---



8.UICC TNM 総合ステージ別 治療内容件数 <自施設で初回治療開始した症例>



5.生存率（2011-2013年5年生存率）

2011-2013年生存率集計 調査方法

1.収集の対象と方法

(1) 収集の対象

- ・2011年から2013年診断症例のデータを用いた。
- ・3か年合計で100件未満の部位については対象外とする。

(2) 収集項目と定義

- ・収集項目は診断から5年後の生存状況の情報を含む標準項目である。（院内がん登録標準登録様式 2006年度版に基づく）
- ・下記の計算式に従い追跡期間（日数）を計算

追跡期間（日数）の計算方法

- ・追跡期間（日数）とは、診断日（起算日）から生存最終確認日または死亡日までの日数とする。
- ・追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日の年月が判明している場合は死亡日
生存の場合は最終生存確認日とする。

$$\text{追跡期間（日数）} = \text{追跡終了日} - \text{診断日(起算日)} + 1$$

2.集計の対象と方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計の対象は、2012及び2014年に診断された症例で次のi～iiiを満たす症例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療

「症例区分2：診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分3：他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」集計対象とした。

ii. 悪性新生物〈腫瘍〉（一部良性の脳腫瘍）

本集計では、原則として新生物〈腫瘍〉の性状コード3の「悪性、原発部位（悪性新生物〈腫瘍〉）」の症例を集計対象とした。ただし、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の症例を含めて集計対象とした。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの症例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

①集計対象症例の抽出

・国立がん研究センターより提供された院内がん登録支援ソフト「Hos-CanR Next」より下記i～iiiに該当する症例を抽出した。

i. 自施設診断・自施設治療、他施設診断・自施設治療

・Hos-CanR Nextより抽出したデータを、表1集計用症例区分の決定のルールに基づいて「集計用症例区分」を作成。集計用症例区分が2・3であった症例を対象とする。

ii. 悪性新生物〈腫瘍〉（一部良性の脳腫瘍）

・「組織診断名コード」が新生物〈腫瘍〉の性状を表す第5桁コードが「3：悪性、原発部位」であった症例を集計対象とした。ただし、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3の局在コードが下記の場合は「0：良性」または「1：良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

iii.年齢

生年月日と診断日を用いて下記の計算式に従って計算した。

・診断年月の月>=生年月日 ⇒ 診断年月の年-生年

・診断年月の月<生年月日の月 ⇒ 診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの症例を集計対象とした。

i~iiiで選定した症例から、下記の㉗~㉙に該当する場合は集計対象から除外した。

㉗性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で性別が不詳であったもの。

㉘追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は「予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

②生存状況把握割合

・生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。5年生存率を集計する場合には、対象者全員の5年後の生存状況を把握することが必要となる。がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくとされ概ね95%以上の生存状況把握割合を維持することが必要であるとされている。しかし、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く調査を実施しても生存状況が確認できない場合がある。

③集計項目の定義

・UICC TNM 分類総合ステージ

術後病理学的ステージがある場合（適応外・不詳・空欄は除く）は、術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。

④集計方法

・ Kaplan-Meier法を用いて実測生存率を算出した。

表1 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1：初発	1：自施設診断	1：自施設で治療	2：自施設診断自施設治療
1：初発	1：自施設診断	3：自施設で経過観察	2：自施設診断自施設治療
1：初発	1：自施設診断	4：他施設へ紹介	1：診断のみ
1：初発	1：自施設診断	8：治療中断	1：診断のみ
1：初発	1：自施設診断	9：その他	1：診断のみ
1：初発	2：他施設診断	1：自施設で治療	3：他施設診断自施設治療
1：初発	2：他施設診断	3：自施設で経過観察	3：他施設診断自施設治療
1：初発	2：他施設診断	4：他施設へ紹介	8：その他
1：初発	2：他施設診断	8：治療中断	8：その他
1：初発	2：他施設診断	9：その他	8：その他
2：治療開始後	2：他施設診断	1：自施設で治療	4：初回治療開始後の症例もしくは再発例
2：治療開始後	2：他施設診断	3：自施設で経過観察	4：初回治療開始後の症例もしくは再発例
2：治療開始後	2：他施設診断	4：他施設へ紹介	8：その他
2：治療開始後	2：他施設診断	8：治療中断	8：その他
2：治療開始後	2：他施設診断	9：その他	8：その他

<集計対象>

- 2011-2013に胃癌と診断された症例
- 症例区分：診断施設を問わず、自施設で治療を開始した症例
- Kaplan-Meier法を用いた実測生存率のみ算出
- UICC TNM分類 総合ステージで集計

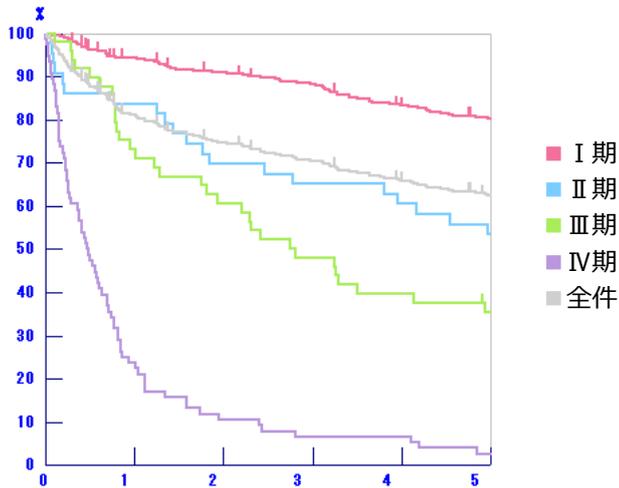
<総合ステージ> 術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療・術後病理学的ステージの適用外及び不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いて算出。

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)
全体	523	212	21	96.0
I期	355	84	19	94.6
II期	43	21	0	100.0
III期	49	33	2	95.9
IV期	76	74	0	100

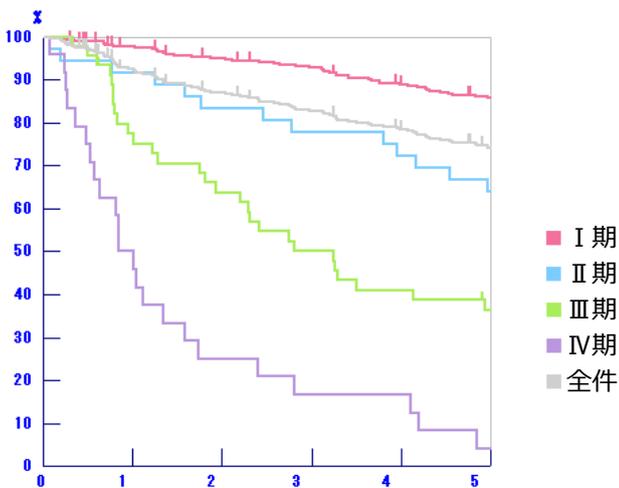
実測生存率

★全件



	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	523	81.1	74.7	70.5	66.0	62.3
I期	355	94.3	91.1	88.2	83.2	80.2
II期	43	83.7	69.8	65.1	60.5	53.5
III期	49	73.1	60.6	48.1	39.7	35.4
IV期	76	23.7	10.5	6.6	6.6	2.6

★手術症例



*観血的治療の実施

全体数	あり	なし
523	434	89

	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	434	92.5	86.9	82.8	78.5	74.1
I期	329	97.9	95.0	92.8	89.0	85.8
II期	36	91.7	83.3	77.8	72.2	63.9
III期	45	77.4	63.7	50.1	41.0	36.3
IV期	24	50.0	25.0	16.7	16.7	4.2

◆ **実測生存率**--死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。
 ◆ **打ち切り数**--消息不明や観察打ち切りによる5年後の生死を把握することが確認できない患者数。
 ◆ **生存状況把握割合**--患者の予後をどれだけ追跡調査できているかの割合。90%以上であることを基準とし国際的には95%以上が望ましいとされている。
 生存状況把握割合(%) = (1-打ち切り数/集計対象) × 100

＜集計対象＞

- 2011-2013に大腸癌（結腸・直腸）と診断された症例
- 症例区分：診断施設を問わず、自施設で治療を開始した症例
- Kaplan-Meier法を用いた実測生存率のみ算出
- UICC TNM分類 総合ステージで集計

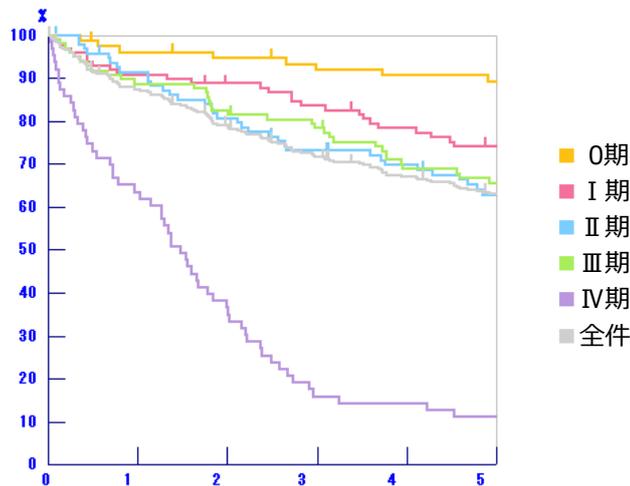
＜総合ステージ＞ 術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療・術後病理学的ステージの適用外及び不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いて算出。

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)
全体	431	178	17	96.1
0期	77	14	4	94.8
I期	99	26	5	94.9
II期	95	40	6	93.7
III期	97	39	2	97.9
IV期	63	59	0	100.0

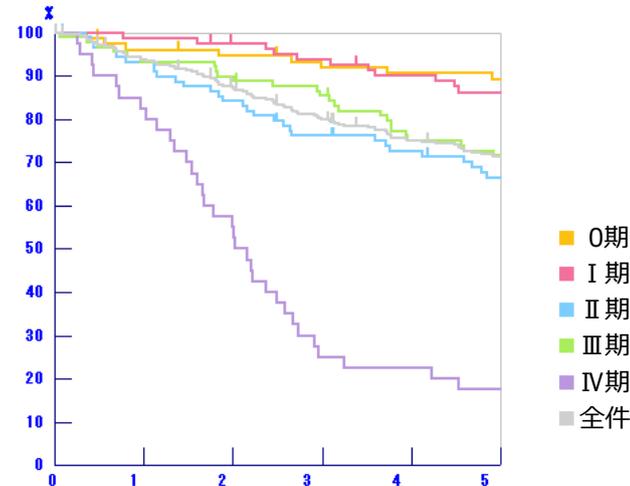
実測生存率

★全件



	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	431	87.4	78.9	71.5	66.9	63.0
0期	77	96.0	94.7	91.9	90.5	89.2
I期	99	90.8	88.8	83.6	78.3	74.1
II期	95	91.4	80.7	73.1	69.7	62.9
III期	97	88.7	82.5	78.3	68.8	65.6
IV期	63	63.5	36.5	15.9	14.3	11.1

★手術症例



*観血的治療の実施

全体数	あり	なし
431	378	53

	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	378	93.9	87.4	79.8	75.1	71.3
0期	77	96.0	94.7	91.9	90.5	89.2
I期	82	98.8	97.6	93.8	90.0	86.2
II期	90	93.2	84.1	76.1	72.5	66.5
III期	89	93.3	89.9	85.4	75.0	71.5
IV期	40	82.5	55.0	25.0	22.5	17.5

◆ **実測生存率**--死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

◆ **打ち切り数**--消息不明や観察打ち切りによる5年後の生死を把握することが確認できない患者数。

◆ **生存状況把握割合**--患者の予後をどれだけ追跡調査できているかの割合。90%以上であることを基準とし国際的には95%以上が望ましいとされている。

$$\text{生存状況把握割合}(\%) = (1 - \text{打ち切り数} / \text{集計対象}) \times 100$$

＜集計対象＞

- 2011-2013に肺癌と診断された症例
- 症例区分：診断施設を問わず、自施設で治療を開始した症例
- Kaplan-Meier法を用いた実測生存率のみ算出
- UICC TNM分類 総合ステージで集計

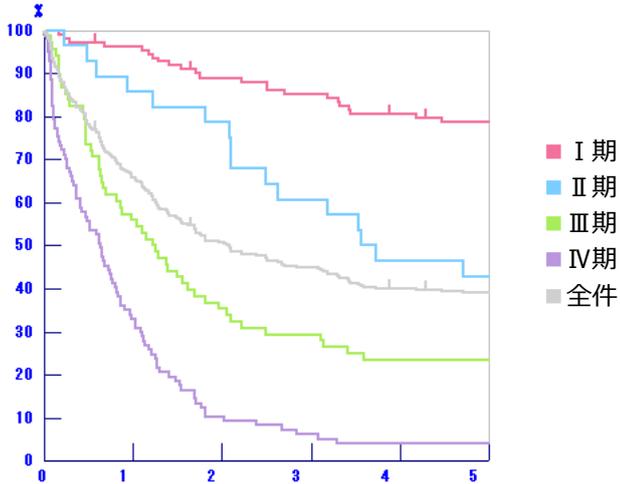
＜総合ステージ＞ 術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療・術後病理学的ステージの適用外及び不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いて算出。

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)
全体	303	193	4	98.7
I期	110	29	4	96.4
II期	28	16	0	100.0
III期	68	55	0	100.0
IV期	97	93	0	100.0

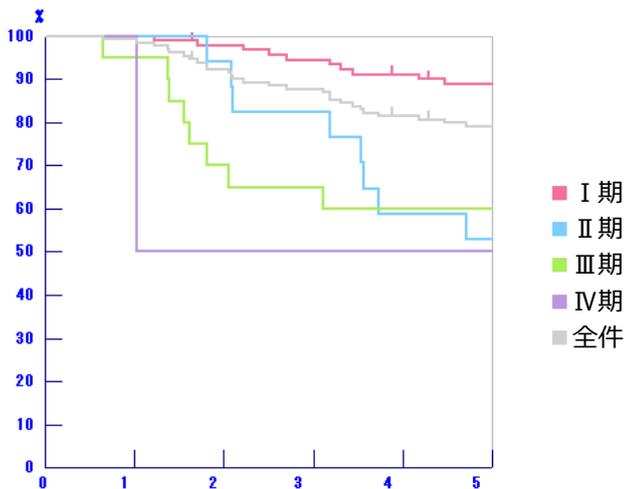
実測生存率

★全件



	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	303	66.0	50.7	45.0	40.0	39.0
I期	110	96.4	89.0	85.3	80.7	78.8
II期	28	85.7	78.6	60.7	46.4	42.9
III期	68	55.9	35.3	29.4	23.5	23.5
IV期	97	33.0	10.3	6.2	4.1	4.1

★手術症例



*観血的治療の実施

全体数	あり	なし
303	130	173

	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	130	99.2	92.3	87.6	81.4	79.1
I期	91	100.0	97.8	94.5	91.1	88.9
II期	17	100.0	94.1	82.4	58.8	52.9
III期	20	95.0	70.0	65.0	60.0	60.0
IV期	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0

◆ **実測生存率**--死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。
 ◆ **打ち切り数**--消息不明や観察打ち切りによる5年後の生死を把握することが確認できない患者数。
 ◆ **生存状況把握割合**--患者の予後をどれだけ追跡調査できているかの割合。90%以上であることを基準とし国際的には95%以上が望ましいとされている。
 生存状況把握割合(%) = (1-打ち切り数/集計対象) × 100

◆ 乳腺

<集計対象>

- 2011-2013年に乳癌と診断された症例
- 症例区分：診断施設を問わず、自施設で治療を開始した症例
- Kaplan-Meier法を用いた実測生存率のみ算出
- UICC TNM分類 総合ステージで集計

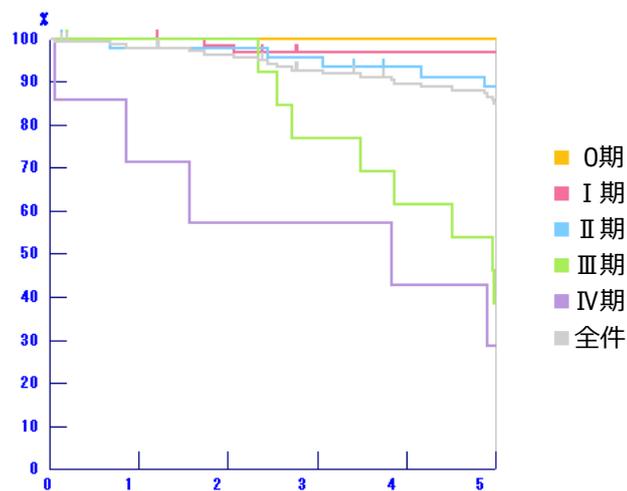
<総合ステージ> 術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療・術後病理学的ステージの適用外及び不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いて算出。

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)
全体	139	28	9	93.5
0期	8	0	0	100.0
I期	63	6	4	93.7
II期	47	6	4	91.5
III期	14	9	1	92.9
IV期	7	7	0	100.0

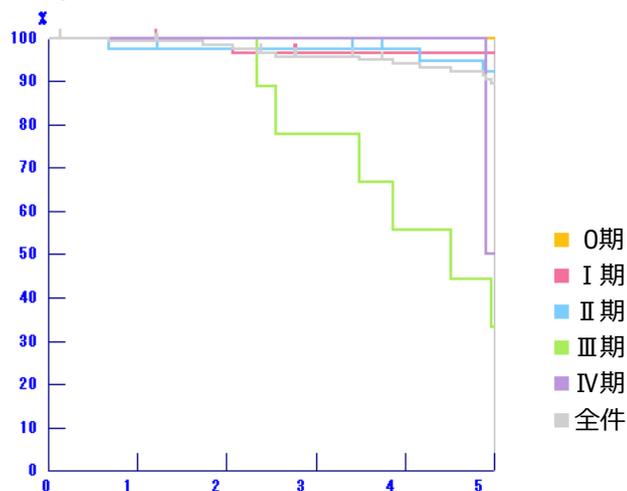
実測生存率

★全件



	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	139	97.8	96.3	92.6	89.5	84.9
0期	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
I期	63	100.0	98.4	96.8	96.8	96.8
II期	47	97.8	97.8	95.6	93.4	88.7
III期	14	100.0	100.0	76.9	61.5	38.5
IV期	7	71.4	57.1	57.1	42.9	28.6

★手術症例



*観血的治療の実施

全体数	あり	なし
139	120	19

	対象数	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)	4年 (%)	5年 (%)
全体	120	99.2	98.3	95.7	94.0	89.5
0期	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
I期	60	100.0	98.3	96.6	96.6	96.6
II期	41	97.5	97.5	97.5	97.5	92.1
III期	9	100.0	100.0	77.8	55.6	33.3
IV期	2	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0

◆ **実測生存率**--死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

◆ **打ち切り数**--消息不明や観察打ち切りによる5年後の生死を把握することが確認できない患者数。

◆ **生存状況把握割合**--患者の予後をどれだけ追跡調査できているかの割合。90%以上であることを基準とし国際的には95%以上が望ましいとされている。

$$\text{生存状況把握割合(％)} = (1 - \text{打ち切り数} / \text{集計対象}) \times 100$$